



あなたや家族の命を守るために
必ずご確認ください！

不安になったらまず開く！▶

写真：新潟豪雨災害（平成16年7月）時の市内での被災のようす

見附市 豪雨災害対応 ガイドブック

HEAVY RAIN FALL HAZARD GUIDE BOOK
(洪水・土砂災害ハザードマップ)

2020年

マイ・タイムラインにメモ

裏表紙

Featuring

5種類のマップが載っています

気づきマップ
洪水浸水想定区域図

逃げどきマップ

ため池ハザードマップ
液状化しやすさマップ

見附市

このガイドブックについての
お問い合わせ先

新潟県見附市企画調整課
〒954-8686 新潟県見附市昭和町2丁目1番1号
☎ 0258-62-1700（代表）

発行 新潟県見附市
企画・編集 新潟県見附市企画調整課、(株)アイ・ディー・エー社会技術研究所
監修 東京大学大学院情報学環 特任教授 片田敏孝

激しさを増す 豪雨災害

近年では地球温暖化等の影響によって、雨の降り方が大きく変わってきています。台風の巨大化や線状降水帯の発生による広域への断続的な大雨が頻発し、毎年、各地で観測記録を更新するような大雨が発生し、多くの方が犠牲になっています。



平成 30 年 7 月豪雨における岡山県倉敷市真備町の浸水の様子
(写真提供：国土交通省中国地方整備局)



千曲川（長野県中野市、10/13 撮影）
「令和元年(2019年)台風19号に関する情報:空中写真(斜め写真)」
(写真適用：国土地理院)

荒ぶりを増す自然災害から命を守るために、わたしたちも変わらなければなりません

荒ぶりを増す自然災害に対して、わたしたちは命を守ることができるでしょうか。災害で命を落とさないために、わたしたちも変わらなければなりません。

災害に向かい合っているのはあなただけではありません。見附市には子ども達、障害がある方、介護が必要な方など様々な方が暮らしています。被災地をみると、犠牲者の多くはそのような方です。

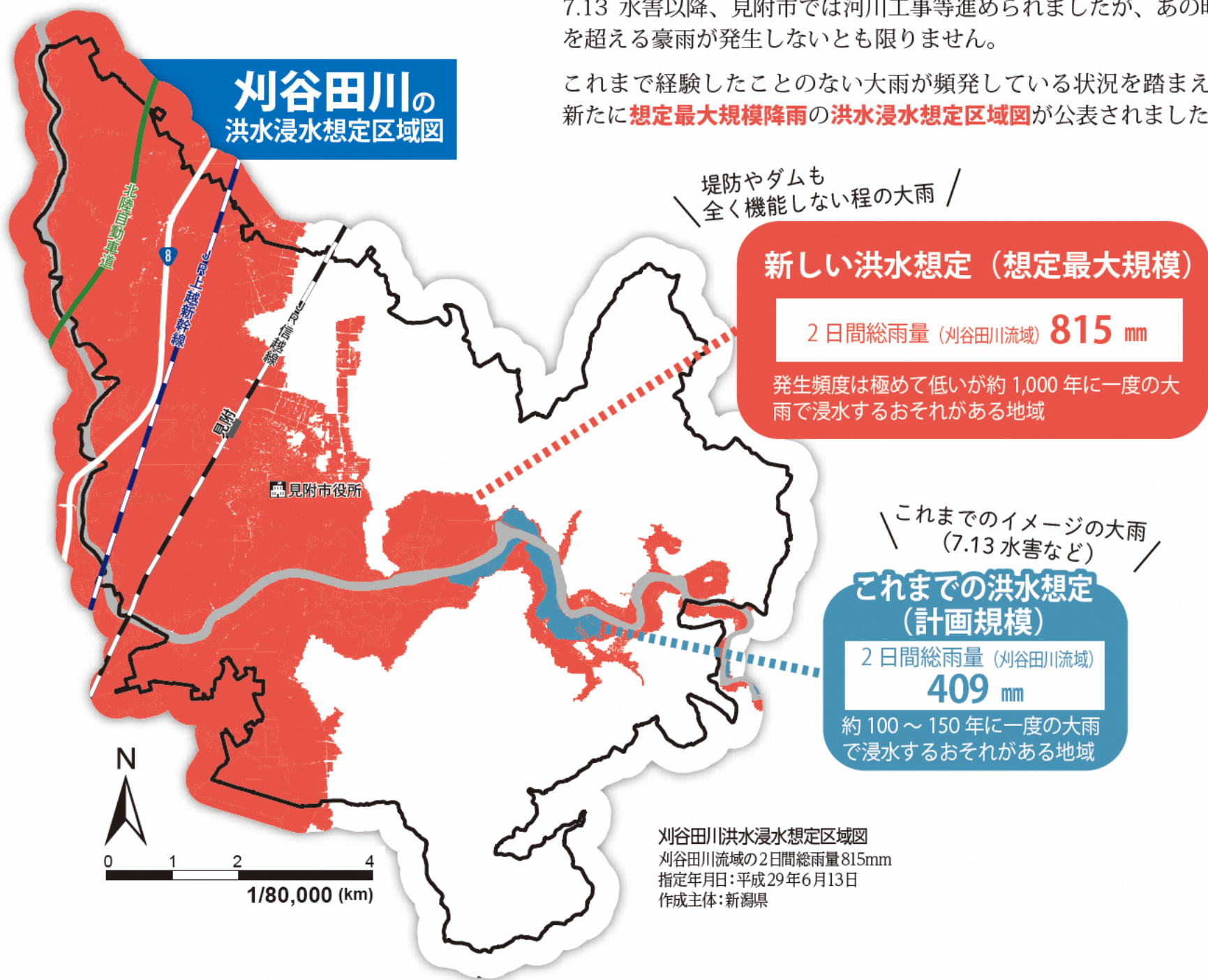
荒ぶる自然災害に対して見附市から犠牲者ゼロを目指すために、まずは、「自分の命は自分で守る」という原点に立ち返るとともに、見附市・市民が一体となり災害に向かい合うことが必要です

東京大学大学院情報学環特任教授 片田敏孝



7.13 水害以降、見附市では河川工事等進められましたが、あの時を超える豪雨が発生しないとも限りません。

これまで経験したことのない大雨が頻発している状況を踏まえ、新たに**想定最大規模降雨**の**洪水浸水想定区域図**が公表されました。



1 早めの避難を躊躇しない！

避難の判断が遅くなるほど、行動の選択肢は少なくなります。

不安になったり、避難を迷ったら、ためらわずにまずは行動に移しましょう。

避難先は市の避難場所である必要はありません。**親戚・知人宅など安心して避難できる安全な避難先を決めておきましょう。**

2 命を守る行動を決断できるのはあなたしかいない！

災害のおそれが高まったとき、さまざまな情報が発表されます。

しかし、その情報で避難などの命を守る行動を決断できるのはあなたしかいません。

自分の命、家族の命の問題と認識して、必要な行動を確認しましょう。

3 みんなで決めて、みんなで逃げる

避難の決断は、ひとりでは難しいものです。**避難を誘う声かけをしたり、一緒に避難する人を決めて**

おきましょう。また、地域にはひとりでは避難が困難な方もいます。

助け合いながら避難するなど、みんなで逃げる方法も考えておきましょう。

Q & A

Q1 見附市では、どのような豪雨災害の危険性がありますか？

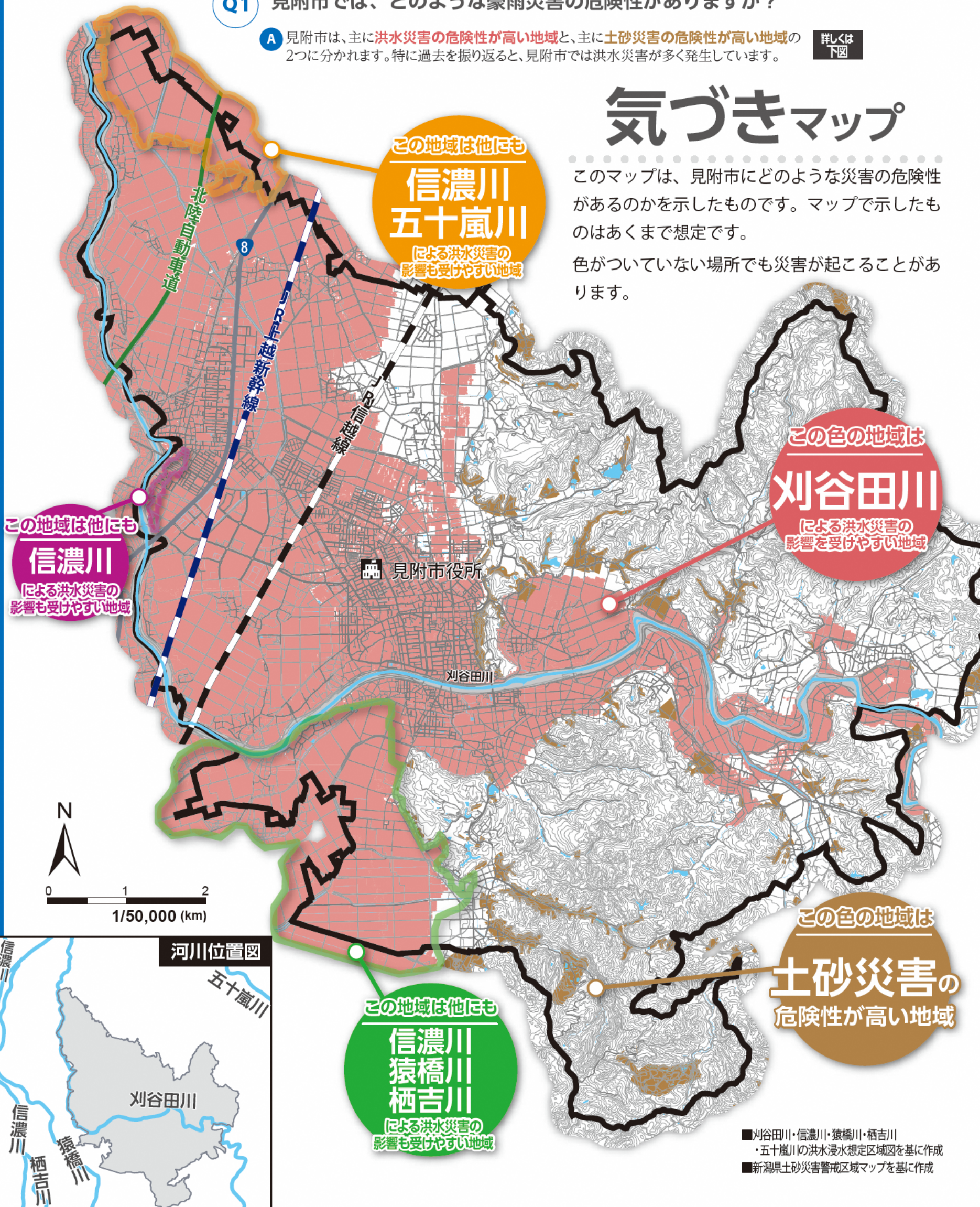
A 見附市は、主に洪水災害の危険性が高い地域と、主に土砂災害の危険性が高い地域の2つに分かれます。特に過去を振り返ると、見附市では洪水災害が多く発生しています。

詳しくは
下図

気づきマップ

このマップは、見附市にどのような災害の危険性があるのかを示したものです。マップで示したものはあくまで想定です。

色がついていない場所でも災害が起こることがあります。



もくじ

洪水災害について

- Q2** 平成16年の7・13新潟豪雨災害のような水害は、また見附市で起こるのでしょうか？
- A** 新潟豪雨災害以後、見附市では河川改修が進められてきましたが、近年、あの時の大雨を超える豪雨災害が全国各地、世界各地で発生しています。 **詳しくは05ページ**
- Q3** 見附市で考えられる洪水災害には、地域ごとにどのような特徴がありますか？
- A** もし、刈谷田川、信濃川、猿橋川、栖吉川、五十嵐川が決壊した場合、その影響範囲やどの程度浸水するかは、皆さまがお住まいの地域ごとに異なります。 **詳しくは07-08ページ**

避難・情報について

- Q4** 洪水発生時に避難すべきでしょうか？自宅にとどまるべきでしょうか？
- A** 洪水時に避難すべきか否かは、お住まいの地域や自宅の形状、家族構成、そして何よりもタイミングによって異なります。 **詳しくは09-22ページ**
- Q5** 自宅外に避難するとき、どのように避難すればよいでしょうか？
- A** 浸かった水の中を避難することは大変危険です。早めの避難が大原則ですが、やむをえず浸かった水の中を避難する場合は、様々なことに気をつけましょう。 **詳しくは27-28ページ**
- Q6** アパートマンションの中高層階などに住んでいて避難するつもりはありません。家にいても大丈夫ですか？
- A** 自宅が浸水しなかったとしても、救助が到着するまで様々な不便が生じる可能性があります。 **詳しくは29-30ページ**
- Q7** 洪水時には、どのようなタイミングで避難すべきでしょうか？
- A** 市から避難勧告や避難指示（緊急）が伝えられたら、避難を開始することは言うまでもありませんが、どのような場合も確実に発令されるとは限りません。早めの自主的な行動が、あなたとあなたの家族を守ります。 **詳しくは23-24ページ**
- Q8** 避難勧告や避難指示（緊急）は誰からどのように伝えられるのでしょうか？
- A** 洪水災害の危険性が高まった場合は、様々な場所や方法で情報が発信されますが、確実に伝わるとは限りません。皆さま自身があらゆる情報網を使って積極的に情報を得ることが重要です。 **詳しくは23-24ページ**
- Q9** ひとりで避難することが難しい人はどうすればよいですか？
- A** 自然災害で犠牲となる方の多くが高齢者や身体の不自由な方など、いわゆる災害時要援護者と言われています。普段からどのように避難するかについて家族や地域で話し合っておくだけでなく、いざという時に協力し合えることが大切です。 **詳しくは31-32ページ**

土砂災害について

- Q10** 見附市で考えられる土砂災害には地域ごとにどのような特徴がありますか？
- A** 土砂災害にはがけ崩れや地すべり、土石流などいくつかの種類があり、それが発生する可能性は地域ごとに異なります。 **詳しくは11-24ページ**
- Q11** 土砂災害の危険な地域では、どのような状況になったら避難すればよいですか？
- A** 土砂災害はいつ、どこで起こるかが非常に分かりにくい災害ですが、その目安となる情報が行政から発信されています。また、前ぶれとしての異変にも気をつけましょう。 **詳しくは23-24ページ**

MAP 気づきマップ 03

7.13 水害 05

見附市の豪雨災害の想定 06

MAP 洪水浸水想定区域図 07

逃げどきマップの使い方 09

MAP 逃げどきマップ 刈谷田川

1 今町地区	11
2 新潟・見附地区	13
3 北谷地区	15
4 葛巻地区	17
5 見附・上北谷地区	19
6 北谷・上北谷地区	21

避難を助ける情報 23

情報の入手方法 25

避難のための日頃の備え 27

自宅滞在のための備え 29

地域のちから 31

ため池ハザードマップ 33

地震
液状化しやすさマップ 37

メモしておきましょう
マイ・タイムライン 裏表紙

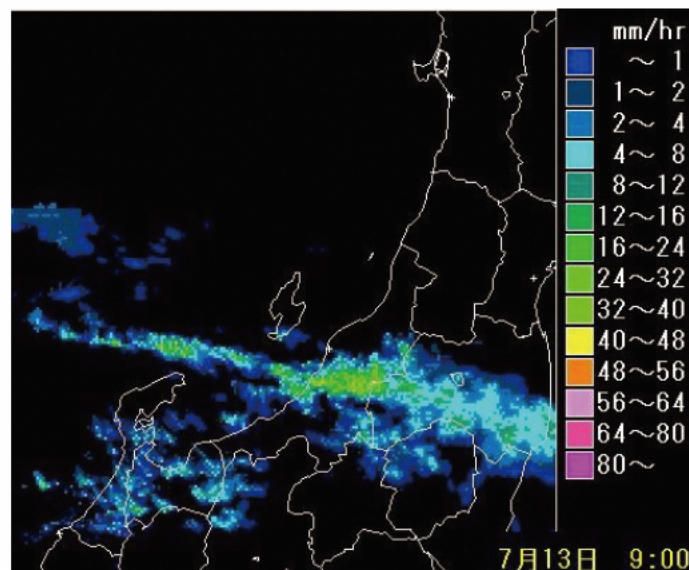
7.13 水害

記録的な集中豪雨

日本海から新潟県付近に停滞していた梅雨前線は、12 日夜から活発化して豪雨となりました。

特に、13 日朝から昼過ぎにかけて中越地方を中心に非常に激しい豪雨となり、上流の**栃尾観測所**〔気象台〕では **422mm**（24 時間雨量）、**刈谷田川ダム観測所**〔新潟県〕では **472mm**（24 時間雨量）を記録しました。これは、昭和 10 年以降の雨量観測データとして最も多かった昭和 36 年の年最大日雨量の 342 mm を大きく上回る記録的な豪雨であり、月平均降水量の約 2 ヶ月分に相当する雨が、わずか 1 日の間に降ったこととなります。

気象台	栃尾観測所	24 時間雨量 422 mm
新潟県	刈谷田ダム観測所	24 時間雨量 472 mm



平成 16 年 7 月 13 日午前 9 : 00 雨雲レーダー
(資料提供：新潟地方気象台)

新潟豪雨災害による被害

平成 16 年 7 月 13 日、新潟県中越地区を中心とした地域を大規模な集中豪雨が襲い、刈谷田川をはじめ五十嵐川など 6 河川で 11 か所が破堤し、市街地が浸水するとともに、各地でがけ崩れ（土砂災害）などが多数発生しました。

新潟豪雨災害では、新潟県内で多くの人的・物的被害が生じました。見附市では、刈谷田川の溢水、堤防の決壊により流域に沿って広範囲に浸水被害が生じ、半壊家屋 1 棟、床上浸水 880 棟、床下浸水 1,153 棟と甚大な被害となりました。



刈谷田川の洪水氾濫により浸水した小学校



見附市では、平成 23 年に 7.13 水害の河川改修工事が行われ、河道をまっすぐにする工事や川幅を広げ堤防を強化する工事、遊水地を整備する工事などが行われました。

見附市の豪雨災害の想定

雨の降り方によっては、洪水浸水想定区域図や土砂災害警戒区域で示されていないところでも浸水や土砂災害の可能性があるので注意してください。

洪水浸水想定区域図

河川別の洪水浸水想定区域図は次のページ

河川堤防の決壊の可能性がある地点ごとにシミュレーションを行い、浸水区域・浸水深さを計算しています。そしてそれぞれの地点の結果をすべて重ね合わせて、浸水区域・浸水深さ等の最大値を表したものです。本ガイドブックは、想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域図を掲載しています。

[想定されている4つの浸水の特徴]

想定される最大の浸水深さ
最大浸水深

0.5m以上の浸水が続く時間
浸水継続時間

流れが強く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）

木造は壊れる



コンクリート造でも倒れる



土砂災害警戒区域

土砂災害防止法に基づき、土砂災害が発生した場合に、生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域として、新潟県により土砂災害警戒区域が指定されました。

土砂災害警戒区域は、がけ崩れ（急傾斜地崩壊）、地すべり、土石流の3つの事象(24ページ)があり、危険度に応じて次の2つに分けられています。

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

がけ崩れ（急傾斜地崩壊）、地すべり、土石流の3つの事象があります。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

特定の開発行為に対する許可制や建築物の構造規制等が行われます。

※不動産取引等で正確な土砂災害警戒区域等の情報が必要な場合は、新潟県砂防課のホームページまたは市役所の窓口などで確認してください。

指定緊急避難場所の安全レベル

市では、想定最大規模の洪水浸水想定区域図等を踏まえ、指定緊急避難場所の安全レベルを設定しました。

指定緊急避難場所の安全レベルと浸水の関係

★★★ 安全レベル3



浸水が想定されていない

★★ 安全レベル2



浸水するが上層階に避難可能

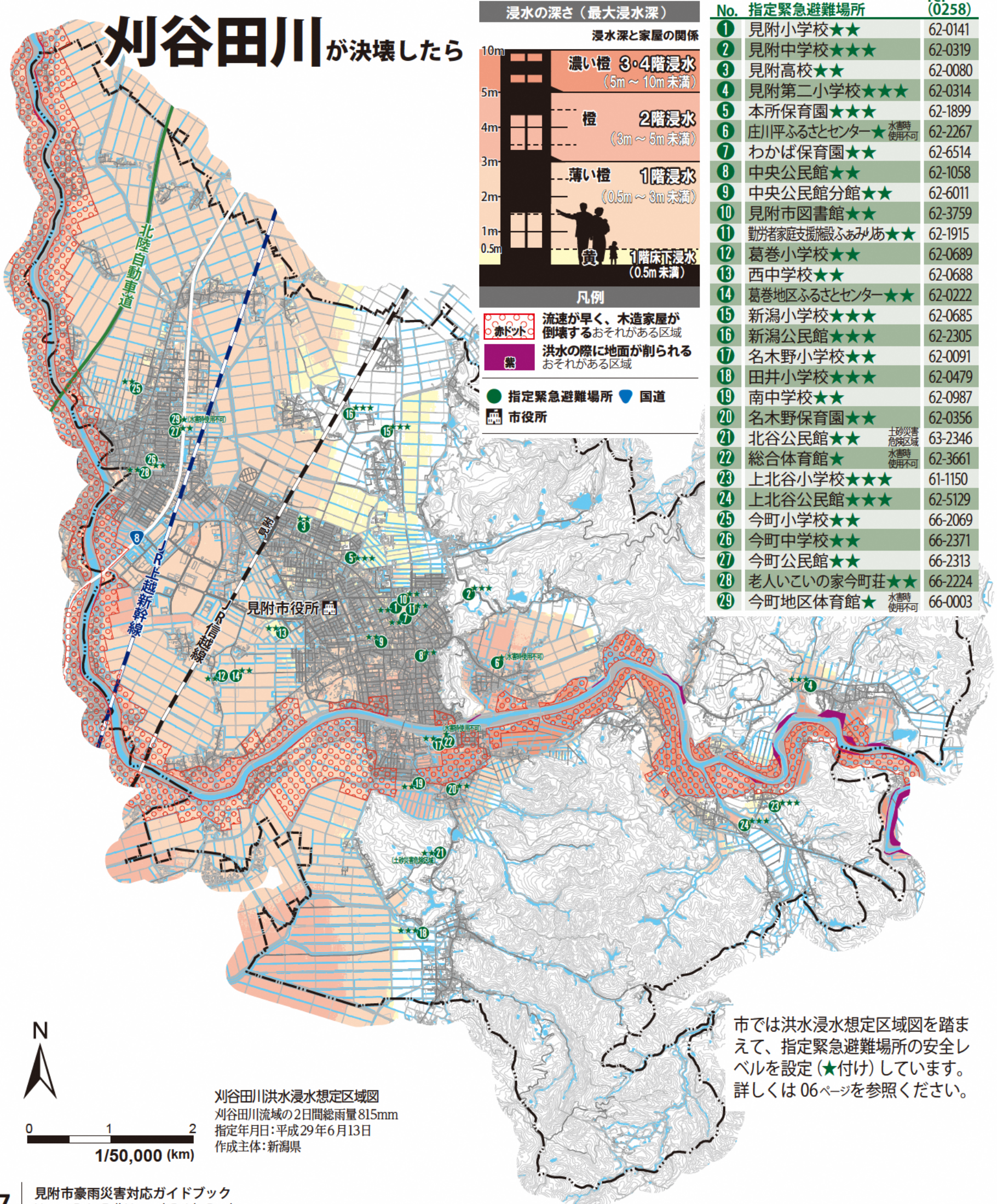
★ 安全レベル1



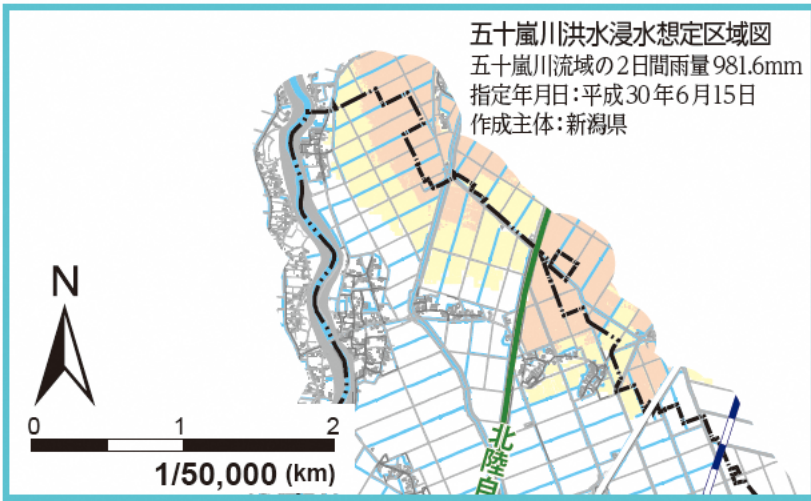
刈谷田川の想定最大規模の洪水では全階浸水するが、地震時には避難可能

洪水浸水想定区域図 [想定最大規模]

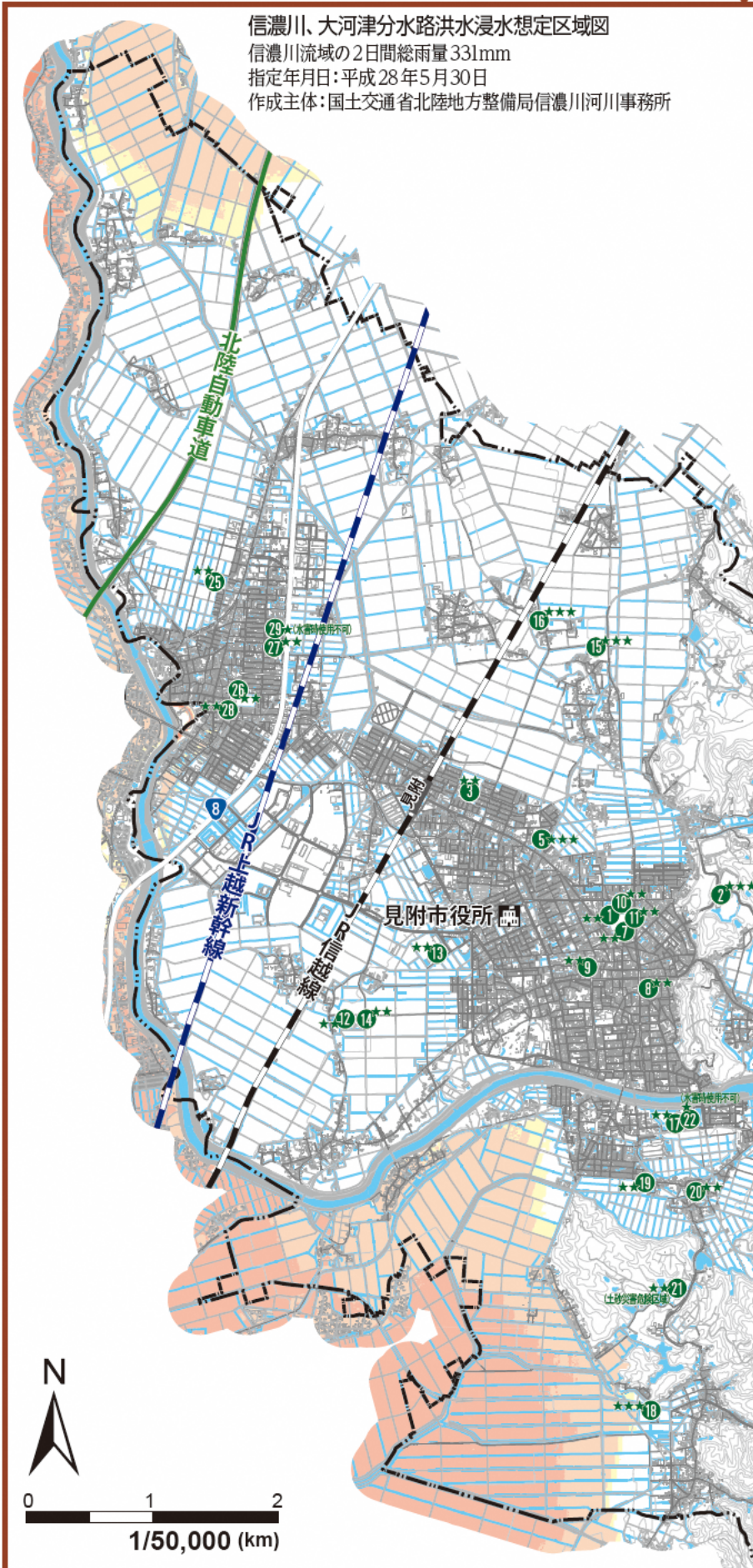
見附市には、中央に刈谷田川、周辺に信濃川と猿橋川、栖吉川、五十嵐川が流れています。これらの河川が決壊した場合、どの範囲にどのくらいの深さで浸水するのかを各河川の洪水浸水想定区域図でご確認ください。



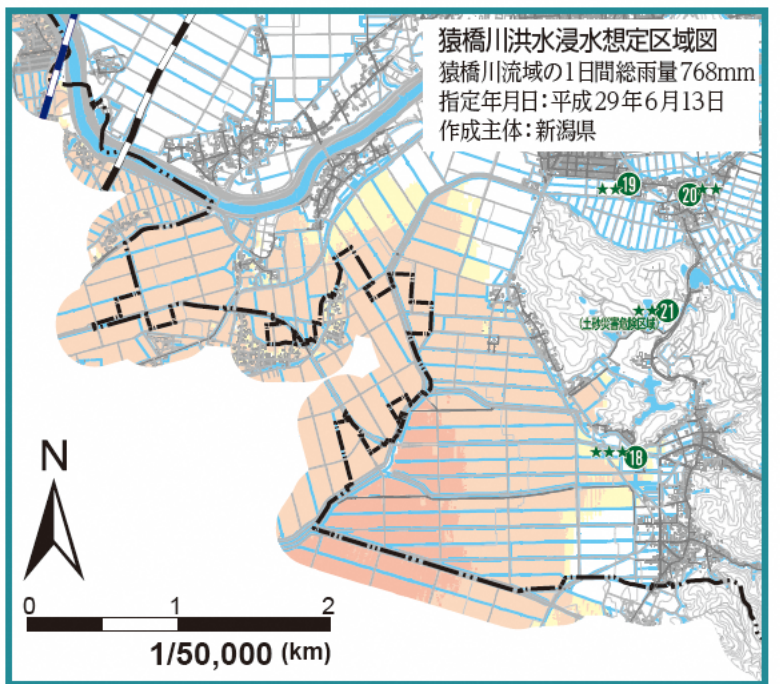
五十嵐川が決壊したら



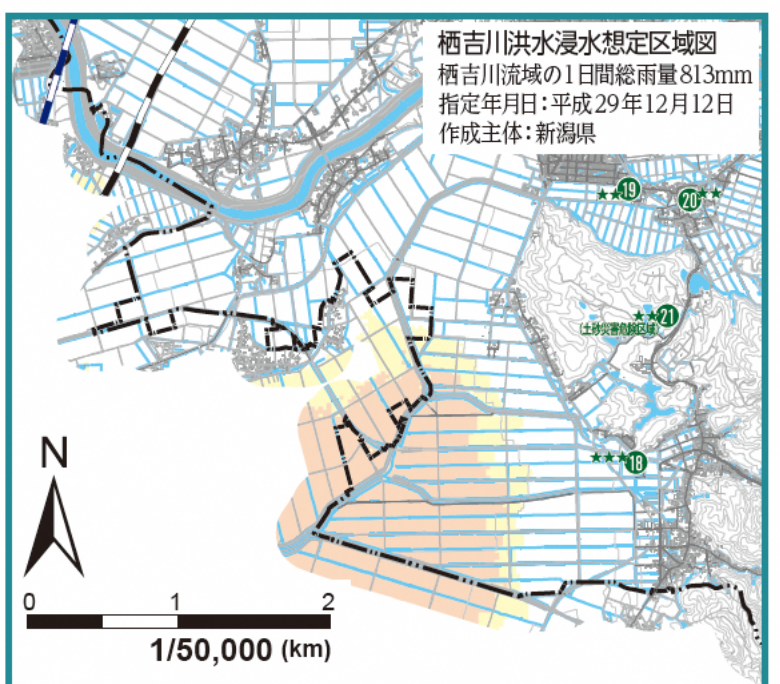
信濃川が決壊したら



猿橋川が決壊したら



栖吉川が決壊したら

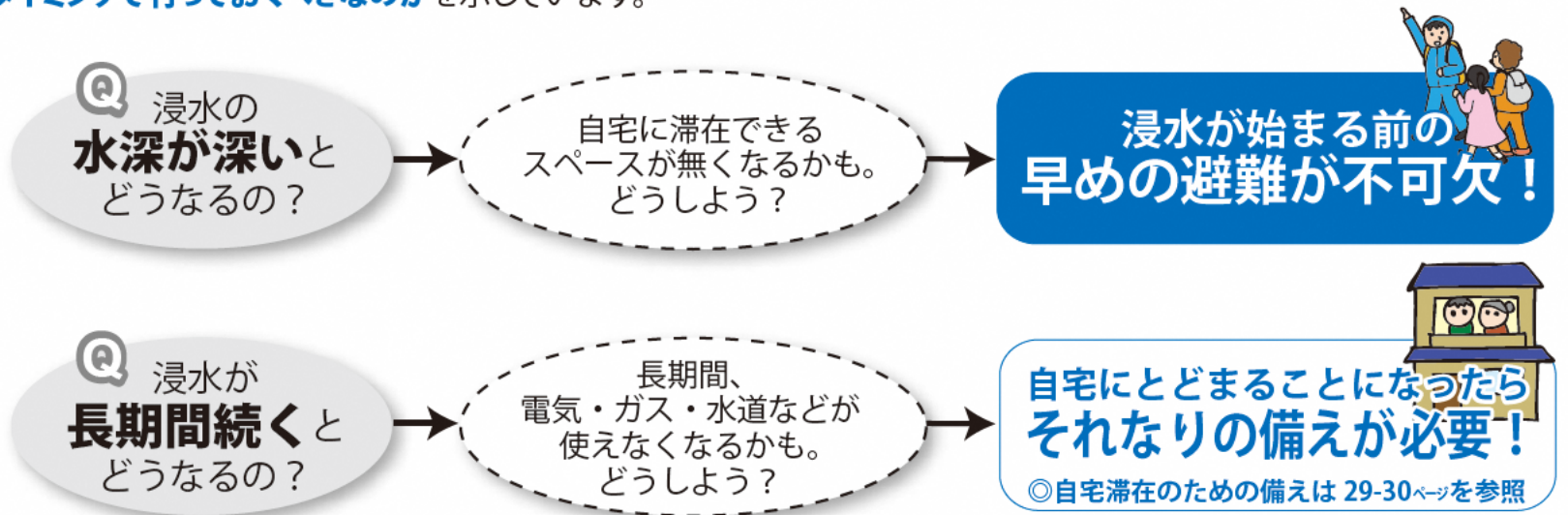


逃げどきマップの使い方

逃げどきマップとは

逃げどきマップは、河川管理者から提供された資料を参考に、見附市が独自に作成したものです。

逃げどきマップは、約1,000年に一度の大雨で刈谷田川が決壊した場合に見附市内の各箇所において、どのような備えや行動を、どのようなタイミングで行っておくべきなのかを示しています。



逃げどきマップで逃げかたを考えましょう

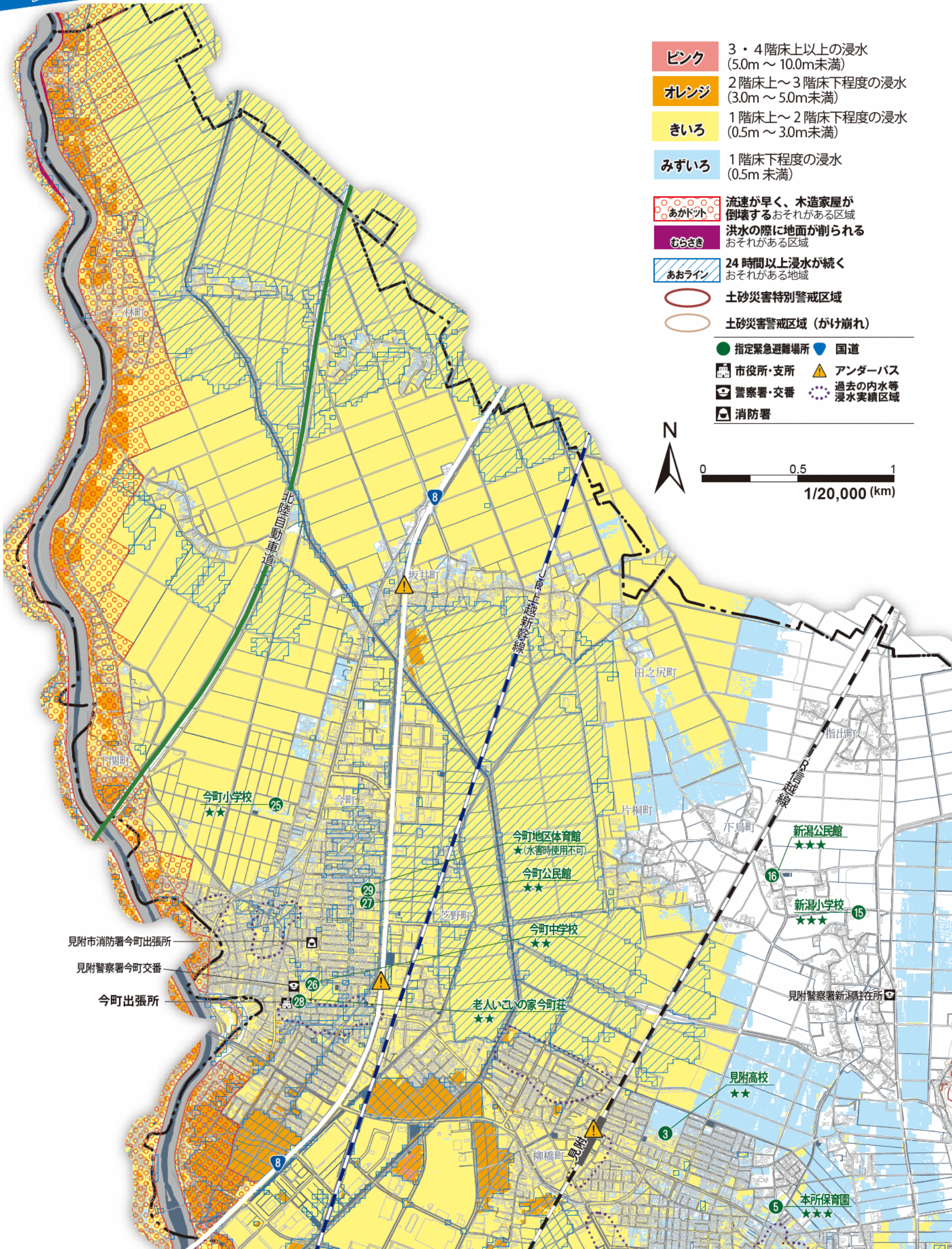
【浸水後、自宅滞在が困難な住居】では **浸水前の早めの自宅外避難** が重要です。

一方、【浸水後、安全に自宅滞在が可能な住居】では、「**浸水後に自宅外避難**」はせずに **自宅に滞在** することが安全です。

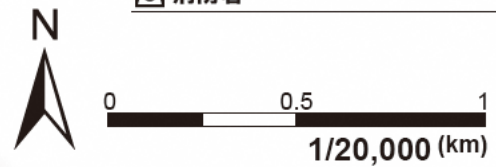
「自宅の位置」や「自宅の形態（構造）」や「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。逃げどきマップから該当箇所をたどると「あなたの家庭での行動指針」が示されますのでご参考ください。



今町地区



- ピンク** 3・4階床上以上の浸水 (5.0m～10.0m未満)
- オレンジ** 2階床上～3階床下程度の浸水 (3.0m～5.0m未満)
- きいろ** 1階床上～2階床下程度の浸水 (0.5m～3.0m未満)
- みずいろ** 1階床下程度の浸水 (0.5m未満)
- あがド外** 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- むらさき** 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- あおライン** 24時間以上浸水が続くおそれがある地域
- 赤線** 土砂災害特別警戒区域
- 白線** 土砂災害警戒区域 (がけ崩れ)
- 緑丸** 指定緊急避難場所
- 青丸** 国道
- 黒丸** 市役所・支所
- 黄三角** アンダーパス
- 黒四角** 警察署・交番
- 紫点** 過去の内水等浸水実績区域
- 黒四角** 消防署



見附市消防署今町出張所
見附警察署今町交番
今町出張所

今町小学校
★★

今町地区体育館
★(水害時使用不可)

今町公民館
★★

今町中学校
★★

老人いっしょの家今町荘
★★

新潟公民館
★★★

新潟小学校
★★★

見附高校
★★

見附警察署新潟駐在所

本所保育園
★★★

このマップは刈谷田川に約1,000年に1回程度発生する確率の大雨を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。色がついていないところでも注意が必要です。



指定緊急避難場所一覧

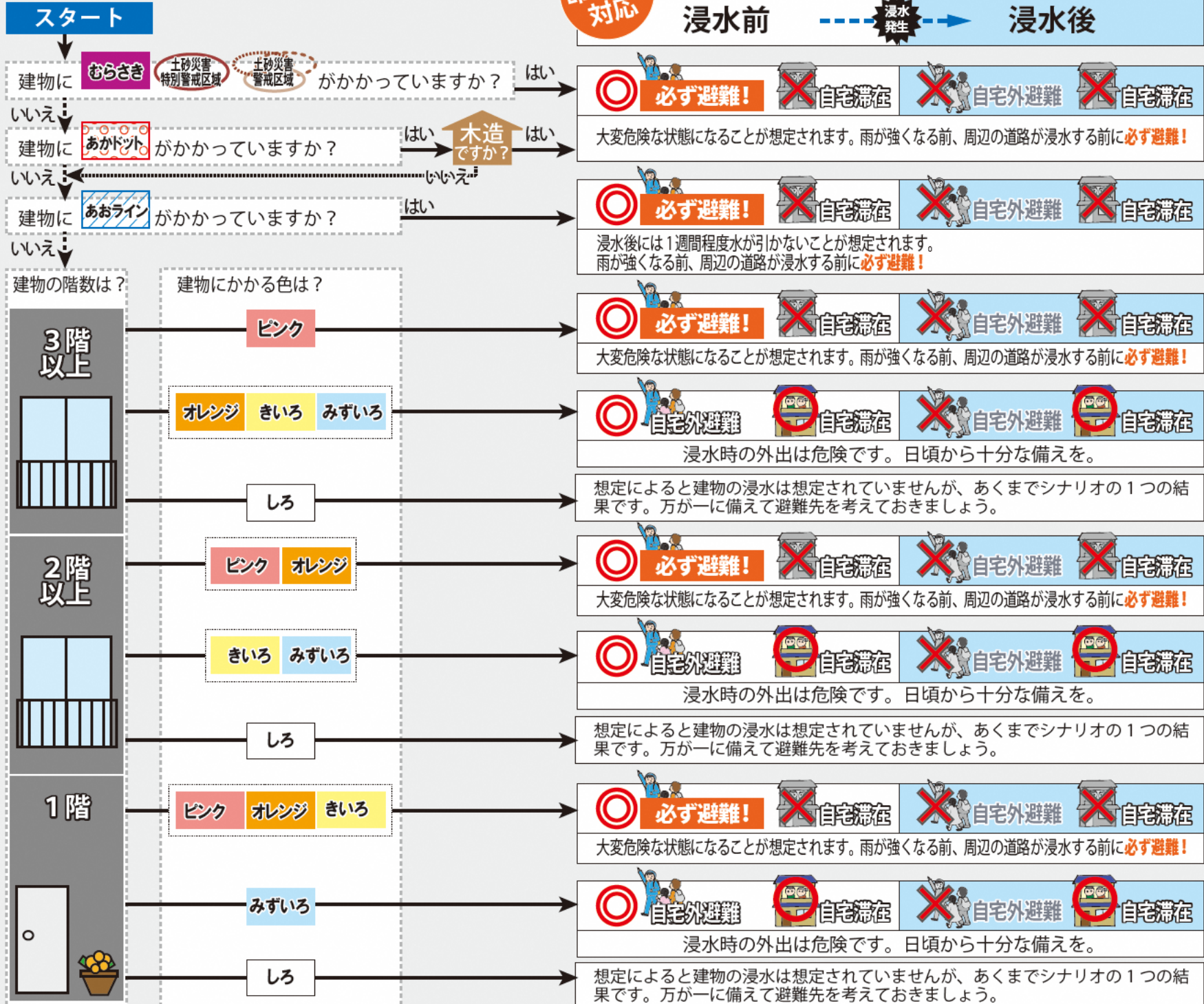
No.	指定緊急避難場所	Tel(0258)
3	見附高校★★	62-0080
5	本所保育園★★★★	62-1899
15	新潟小学校★★★★	62-0685
16	新潟公民館★★★★	62-2305
25	今町小学校★★	66-2069
26	今町中学校★★	66-2371
27	今町公民館★★	66-2313
28	老人いこいの家今町荘★★	66-2224
29	今町地区体育館★(水害時使用不可)	66-0003

市では洪水浸水想定区域図を踏まえて、指定緊急避難場所の安全レベルを設定(★付け)しています。詳しくは06ページを参照ください。

Point
裏表紙のマイ・タイムラインに
いつどこに避難するかをメモ!

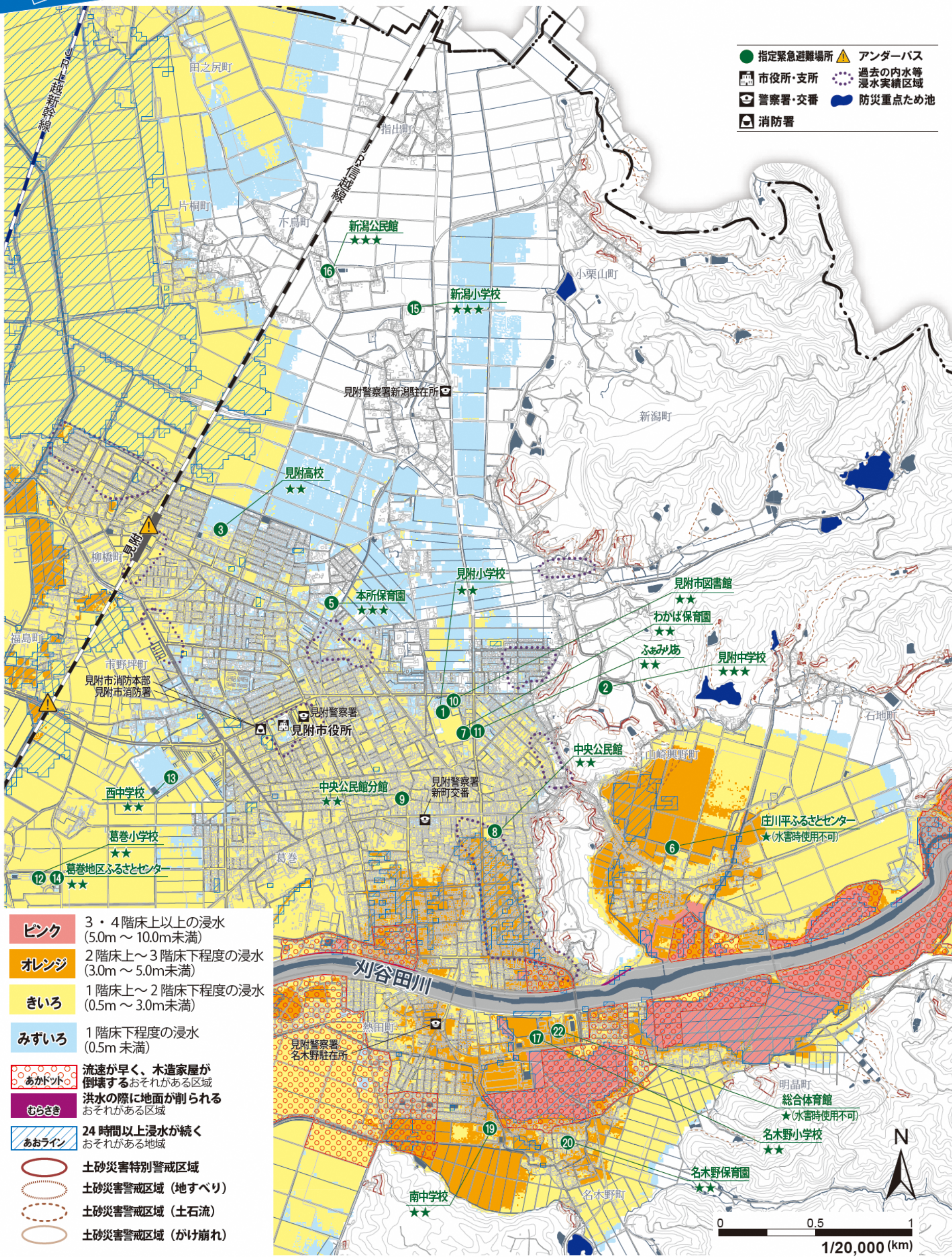
自宅にかかる色や模様困いを見て、フローで確認!

命を守る 対応 あなたの家庭での行動指針



注意!! ご自身の判断で行動してください

新潟・見附地区



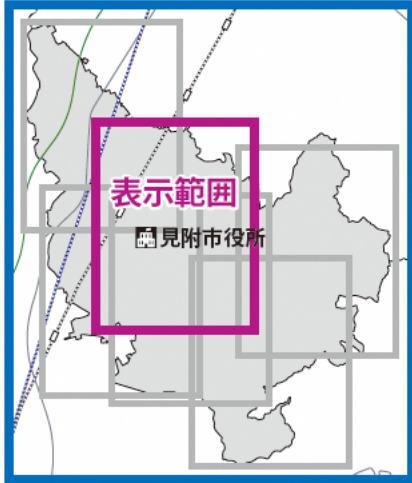
- 指定緊急避難場所 ▲ アンダーパス
- 市役所・支所 過去の内水等浸水実績区域
- 警察署・交番 防災重点ため池
- 消防署

- ピンク** 3・4階床上以上の浸水 (5.0m ~ 10.0m未満)
- オレンジ** 2階床上 ~ 3階床下程度の浸水 (3.0m ~ 5.0m未満)
- きいろ** 1階床上 ~ 2階床下程度の浸水 (0.5m ~ 3.0m未満)
- みずいろ** 1階床下程度の浸水 (0.5m未満)
- あかドット** 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- むらさき** 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- あおライン** 24時間以上浸水が続くおそれがある地域
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域 (地すべり)
- 土砂災害警戒区域 (土石流)
- 土砂災害警戒区域 (がけ崩れ)

このマップは刈谷田川に約1,000年に1回程度発生する確率の大雨を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。色がついていないところでも注意が必要です。

市では洪水浸水想定区域図を踏まえて、指定緊急避難場所の安全レベルを設定(★付け)しています。詳しくは06ページを参照ください。

指定緊急避難場所一覧



No. 指定緊急避難場所	Tel (0258)	No. 指定緊急避難場所	Tel (0258)
1 見附小学校★★	62-0141	12 葛巻小学校★★	62-0689
2 見附中学校★★★	62-0319	13 西中学校★★	62-0688
3 見附高校★★	62-0080	14 葛巻地区ふるさとセンター★★★	62-0222
5 本所保育園★★★★	62-1899	15 新潟小学校★★★★	62-0685
6 庄川平ふるさとセンター★(水害時使用不可)	62-2267	16 新潟公民館★★★★	62-2305
7 わかば保育園★★	62-6514	17 名木野小学校★★	62-0091
8 中央公民館★★	62-1058	19 南中学校★★	62-0987
9 中央公民館分館★★	62-6011	20 名木野保育園★★	62-0356
10 見附市図書館★★	62-3759	22 総合体育館★(水害時使用不可)	62-3661
11 勤労者家庭支援施設ふぁみりあ★★	62-1915		

Point
裏表紙のマイ・タイムラインに
いつどこに避難するかをメモ!

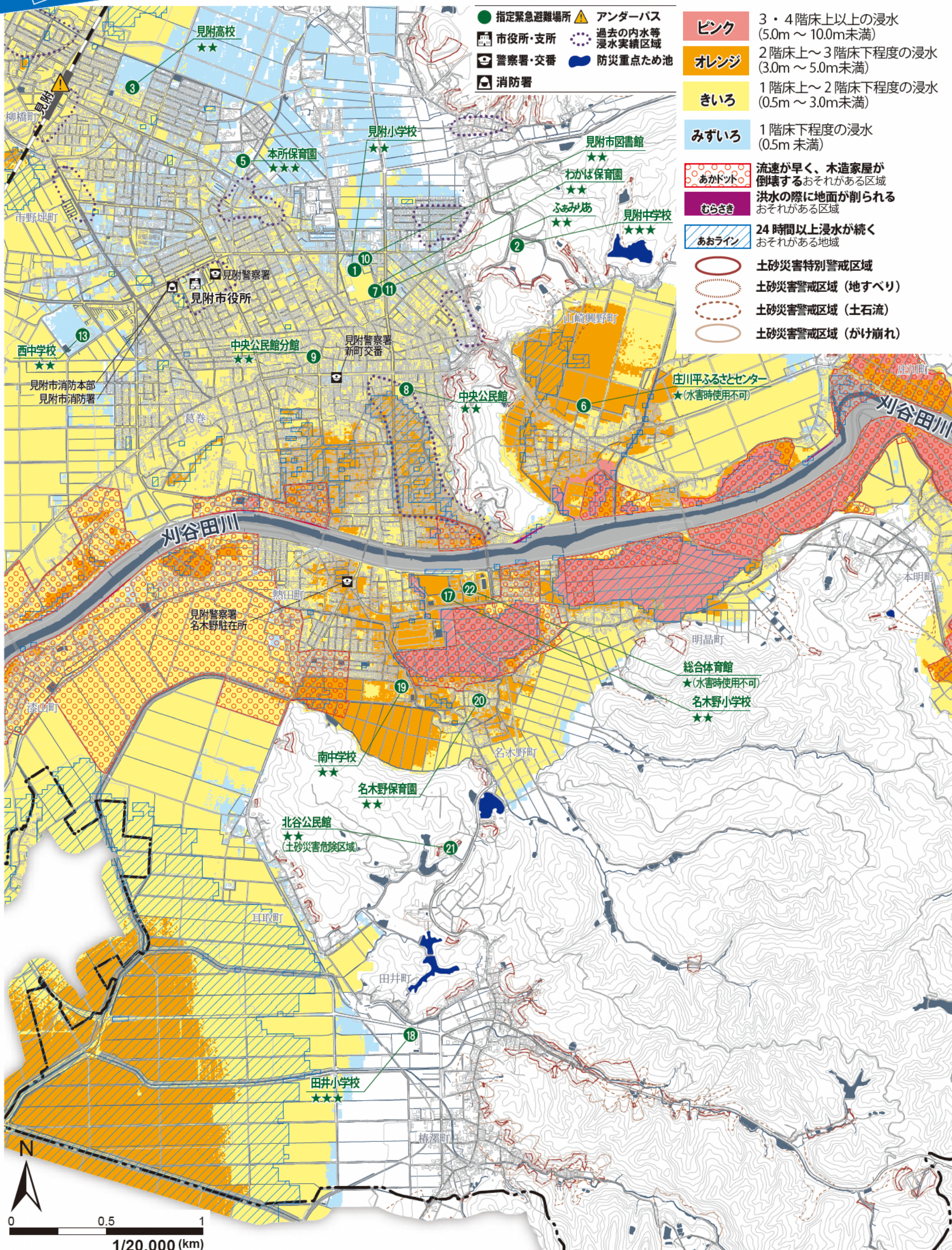
自宅にかかる色や模様困いを見て、フローで確認!

命を守る 対応 あなたの家庭での行動指針



注意!! ご自身の判断で行動してください

北谷地区



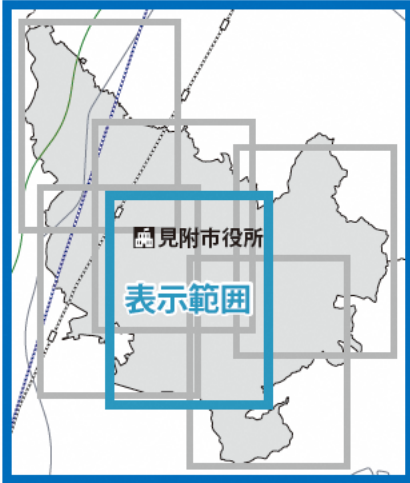
- 指定緊急避難場所
- 市役所・支所
- 警察署・交番
- 消防署
- アンダーパス
- 過去の内水等浸水実績区域
- 防災重点ため池

- ピンク** 3・4階床上以上の浸水 (5.0m～10.0m未満)
- オレンジ** 2階床上～3階床下程度の浸水 (3.0m～5.0m未満)
- きいろ** 1階床上～2階床下程度の浸水 (0.5m～3.0m未満)
- みずいろ** 1階床下程度の浸水 (0.5m未満)
- あかドット** 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- むらさき** 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- あおライン** 24時間以上浸水が続くおそれがある地域
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域 (地すべり)
- 土砂災害警戒区域 (土石流)
- 土砂災害警戒区域 (かけ崩れ)

このマップは刈谷田川に約1,000年に1回程度発生する確率の大雨を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。色がついていないところでも注意が必要です。

市では洪水浸水想定区域図を踏まえて、指定緊急避難場所の安全レベルを設定(★付け)しています。詳しくは06を参照ください。

指定緊急避難場所一覧

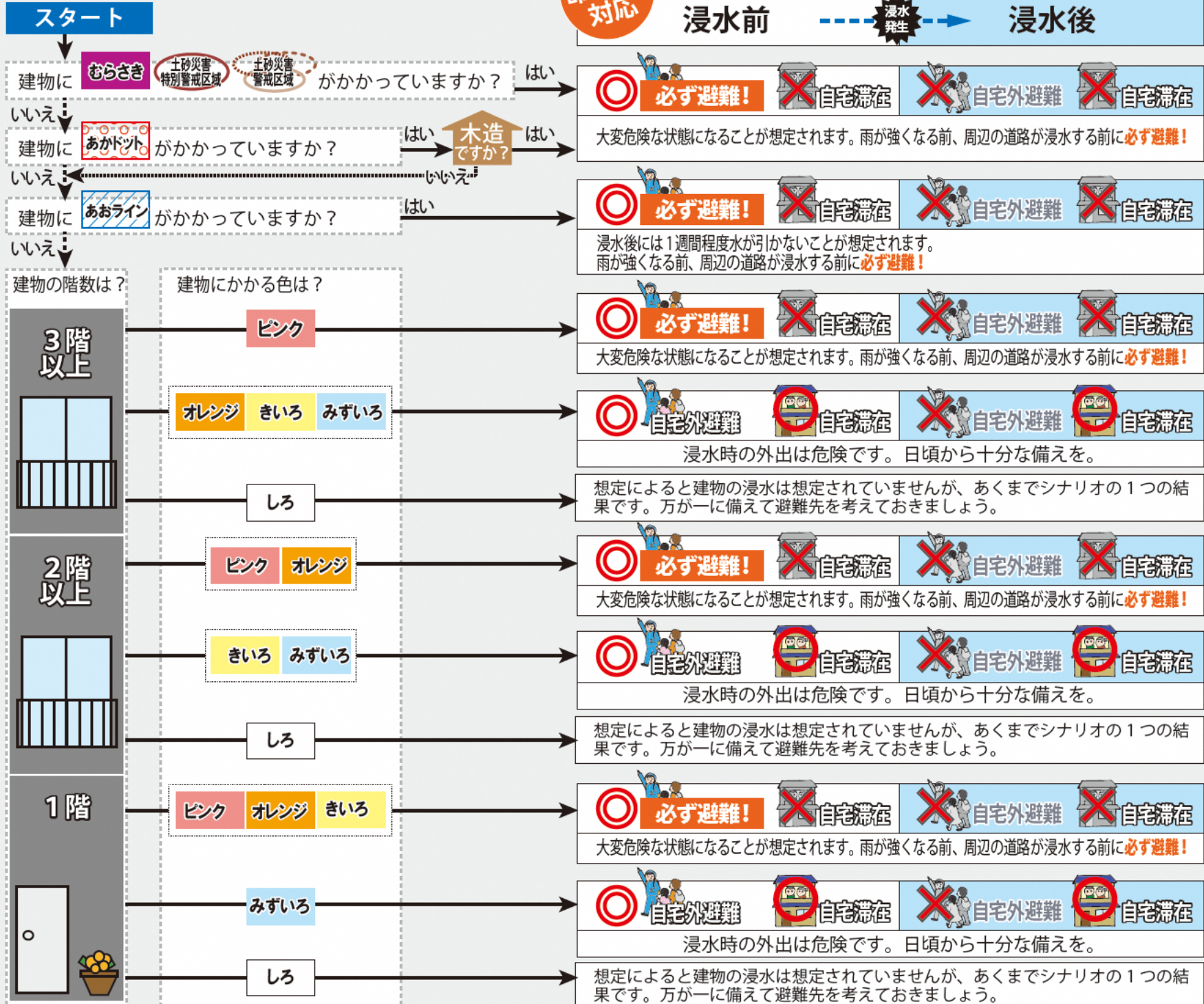


No. 指定緊急避難場所	Tel (0258)	No. 指定緊急避難場所	Tel (0258)
1 見附小学校★★	62-0141	11 勤労者家庭支援施設ふぁみりあ★★	62-1915
2 見附中学校★★★	62-0319	13 西中学校★★	62-0688
3 見附高校★★	62-0080	17 名木野小学校★★	62-0091
5 本所保育園★★★	62-1899	18 田井小学校★★★	62-0479
6 庄川平ふるさとセンター★(水害時使用不可)	62-2267	19 南中学校★★	62-0987
7 わかば保育園★★	62-6514	20 名木野保育園★★	62-0356
8 中央公民館★★	62-1058	21 北谷公民館★★(土砂災害危険区域)	63-2346
9 中央公民館分館★★	62-6011	22 総合体育館★(水害時使用不可)	62-3661
10 見附市図書館★★	62-3759		

Point
裏表紙のマイ・タイムラインに
いつどこに避難するかをメモ!

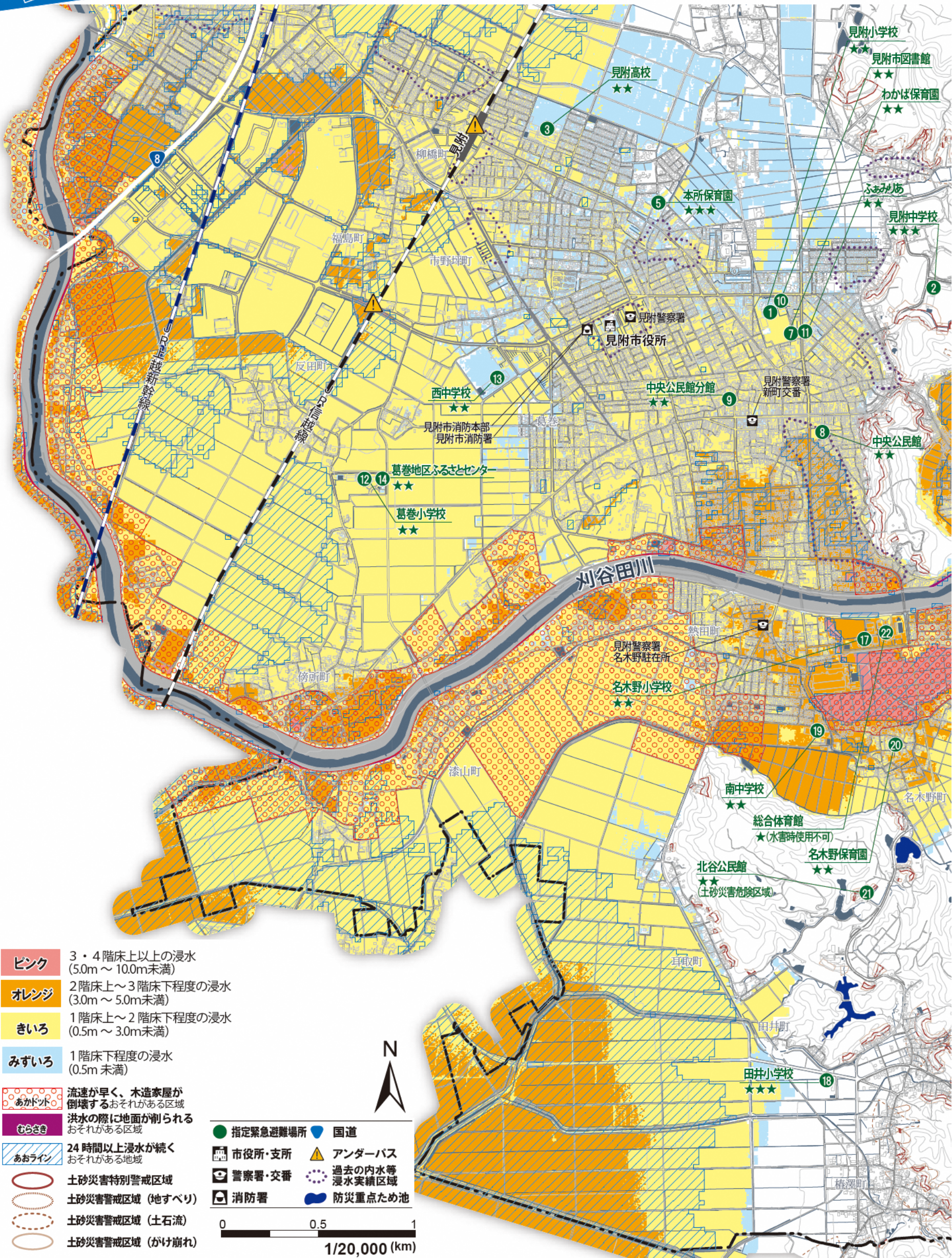
自宅にかかる色や模様困いを見て、フローで確認!

命を守る 対応 あなたの家庭での行動指針 浸水前 浸水発生 浸水後



注意!! ご自身の判断で行動してください

葛巻地区



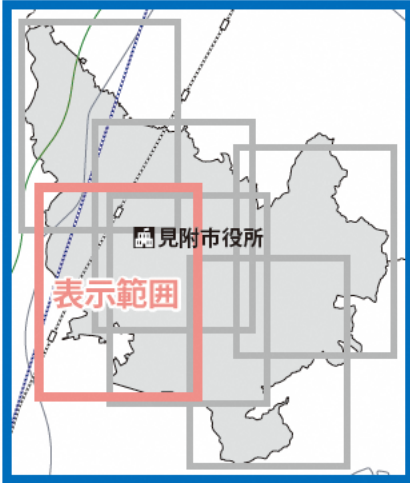
- | | |
|--------------|---------------------------------|
| ピンク | 3・4階床上以上の浸水
(5.0m～10.0m未満) |
| オレンジ | 2階床上～3階床下程度の浸水
(3.0m～5.0m未満) |
| きいろ | 1階床上～2階床下程度の浸水
(0.5m～3.0m未満) |
| みずいろ | 1階床下程度の浸水
(0.5m未満) |
| あかドット | 流速が早く、木造家屋が
倒壊するおそれがある区域 |
| むらさき | 洪水の際に地面が削られる
おそれがある区域 |
| あおライン | 24時間以上浸水が続く
おそれがある地域 |
| 赤線 | 土砂災害特別警戒区域 |
| 赤点線 | 土砂災害警戒区域 (地すべり) |
| 赤点線 | 土砂災害警戒区域 (土石流) |
| 赤点線 | 土砂災害警戒区域 (かけ崩れ) |

- | | | | |
|----------|----------|----------|------------------|
| ● | 指定緊急避難場所 | ● | 国道 |
| ■ | 市役所・支所 | ▲ | アンダーパス |
| ☏ | 警察署・交番 | ⋯ | 過去の内水等
浸水実績区域 |
| 🚒 | 消防署 | 🌊 | 防災重点ため池 |
- 0 0.5 1
1/20,000 (km)

このマップは刈谷田川に約1,000年に1回程度発生する確率の大雨を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。色がついていないところでも注意が必要です。

市では洪水浸水想定区域図を踏まえて、指定緊急避難場所の安全レベルを設定(★付け)しています。詳しくは06ページを参照ください。

指定緊急避難場所一覧



No. 指定緊急避難場所	Tel (0258)	No. 指定緊急避難場所	Tel (0258)
1 見附小学校★★	62-0141	12 葛巻小学校★★	62-0689
2 見附中学校★★★	62-0319	13 西中学校★★	62-0688
3 見附高校★★	62-0080	14 葛巻地区ふるさとセンター★★★	62-0222
5 本所保育園★★★	62-1899	17 名木野小学校★★	62-0091
7 わかば保育園★★	62-6514	18 田井小学校★★★	62-0479
8 中央公民館★★	62-1058	19 南中学校★★	62-0987
9 中央公民館分館★★	62-6011	20 名木野保育園★★	62-0356
10 見附市図書館★★	62-3759	21 北谷公民館★★(土砂災害危険区域)	63-2346
11 勤労者家庭支援施設ふぁみりあ★★	62-1915	22 総合体育館★(水害時使用不可)	62-3661

Point
裏表紙のマイ・タイムラインに
いつどこに避難するかをメモ!

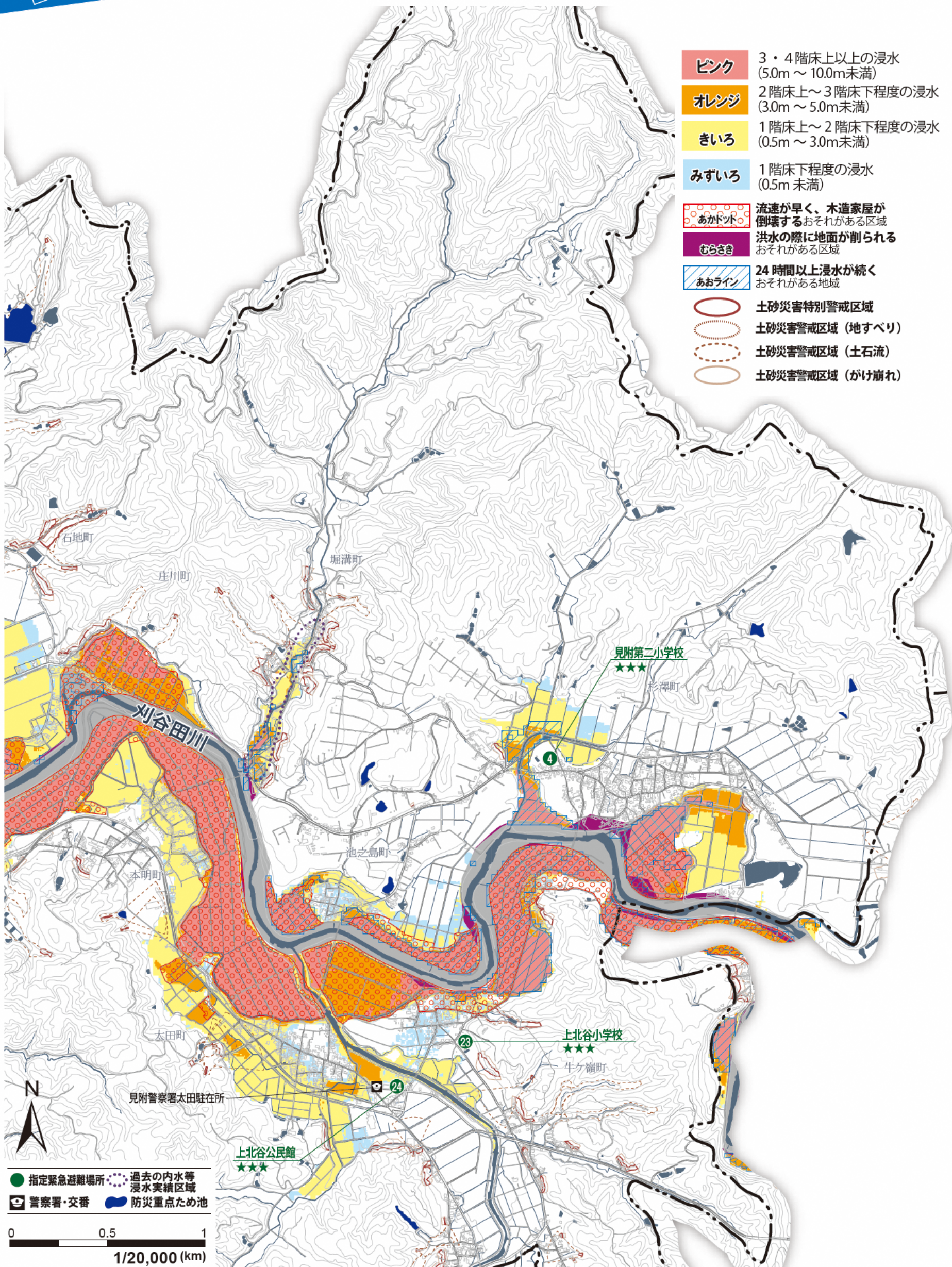
自宅にかかる色や模様困いを見て、フローで確認!

命を守る 対応 あなたの家庭での行動指針



注意!! ご自身の判断で行動してください

見附・上北谷地区



- ピンク** 3・4階床上以上の浸水 (5.0m～10.0m未満)
- オレンジ** 2階床上～3階床下程度の浸水 (3.0m～5.0m未満)
- きいろ** 1階床上～2階床下程度の浸水 (0.5m～3.0m未満)
- みずいろ** 1階床下程度の浸水 (0.5m未満)
- あかドット** 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- むらさき** 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- あおライン** 24時間以上浸水が続くおそれがある地域
- 赤線** 土砂災害特別警戒区域
- 赤点線** 土砂災害警戒区域 (地すべり)
- 赤虚線** 土砂災害警戒区域 (土石流)
- 赤実線** 土砂災害警戒区域 (かけ崩れ)

指定緊急避難場所 ● 過去の内水等浸水実績区域 ●

警察署・交番 🚓 防災重点ため池 🌊

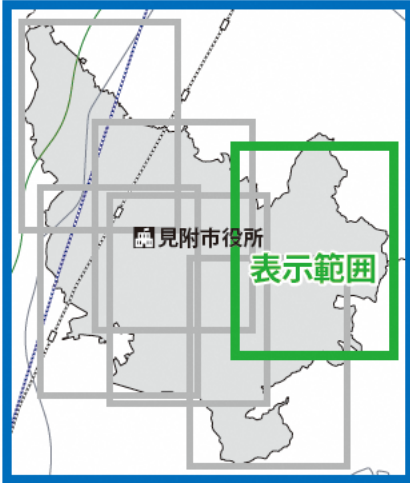
0 0.5 1
1/20,000 (km)

このマップは刈谷田川に約1,000年に1回程度発生する確率の大雨を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。色がついていないところでも注意が必要です。

指定緊急避難場所一覧

No. 指定緊急避難場所	Tel (0258)
4 見附第二小学校★★★	62-0314
23 上北谷小学校★★★	61-1150
24 上北谷公民館★★★	62-5129

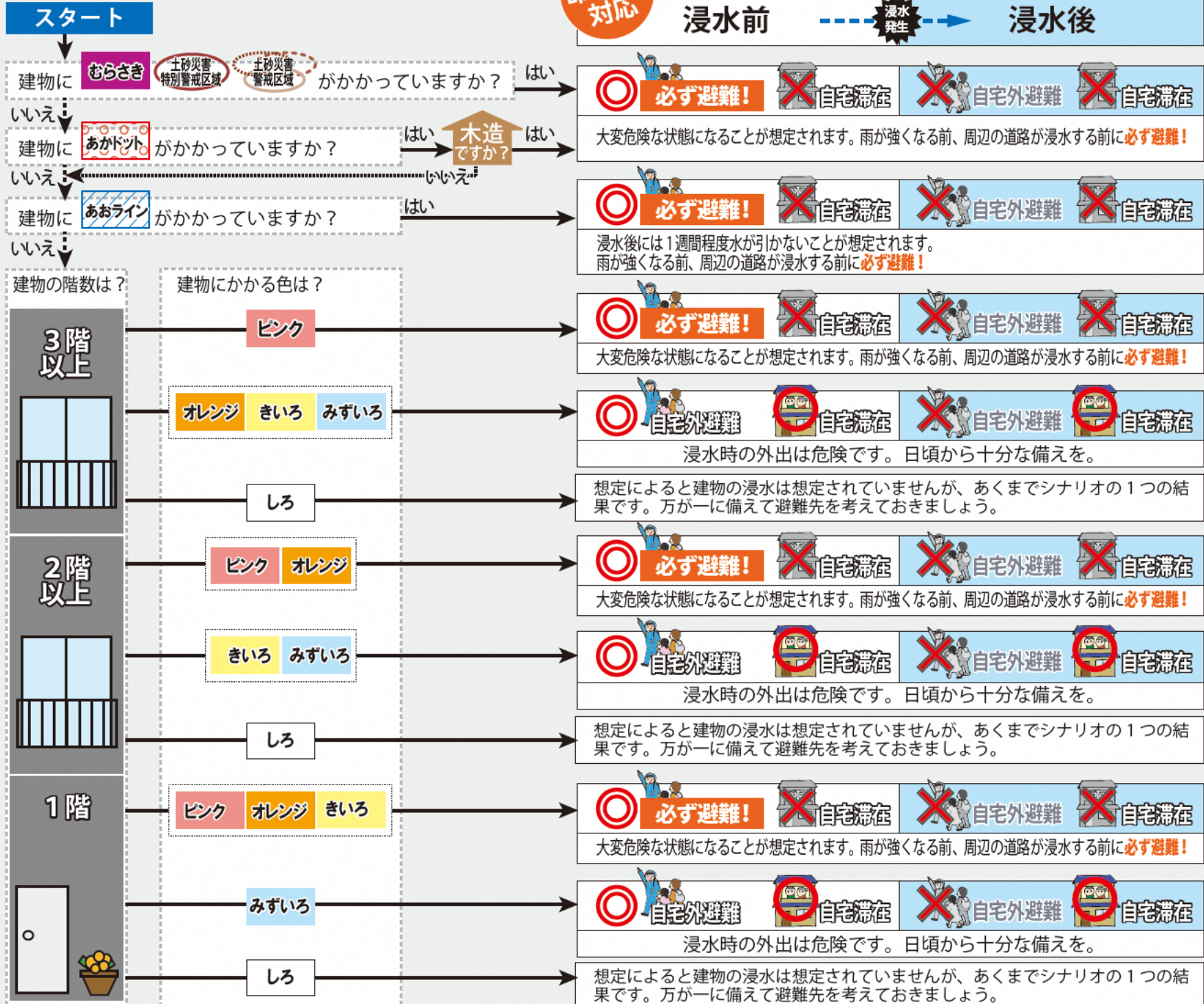
市では洪水浸水想定区域図を踏まえて、指定緊急避難場所の安全レベルを設定(★付け)しています。詳しくは06ページを参照ください。



Point
裏表紙のマイ・タイムラインに
いつどこに避難するかをメモ!

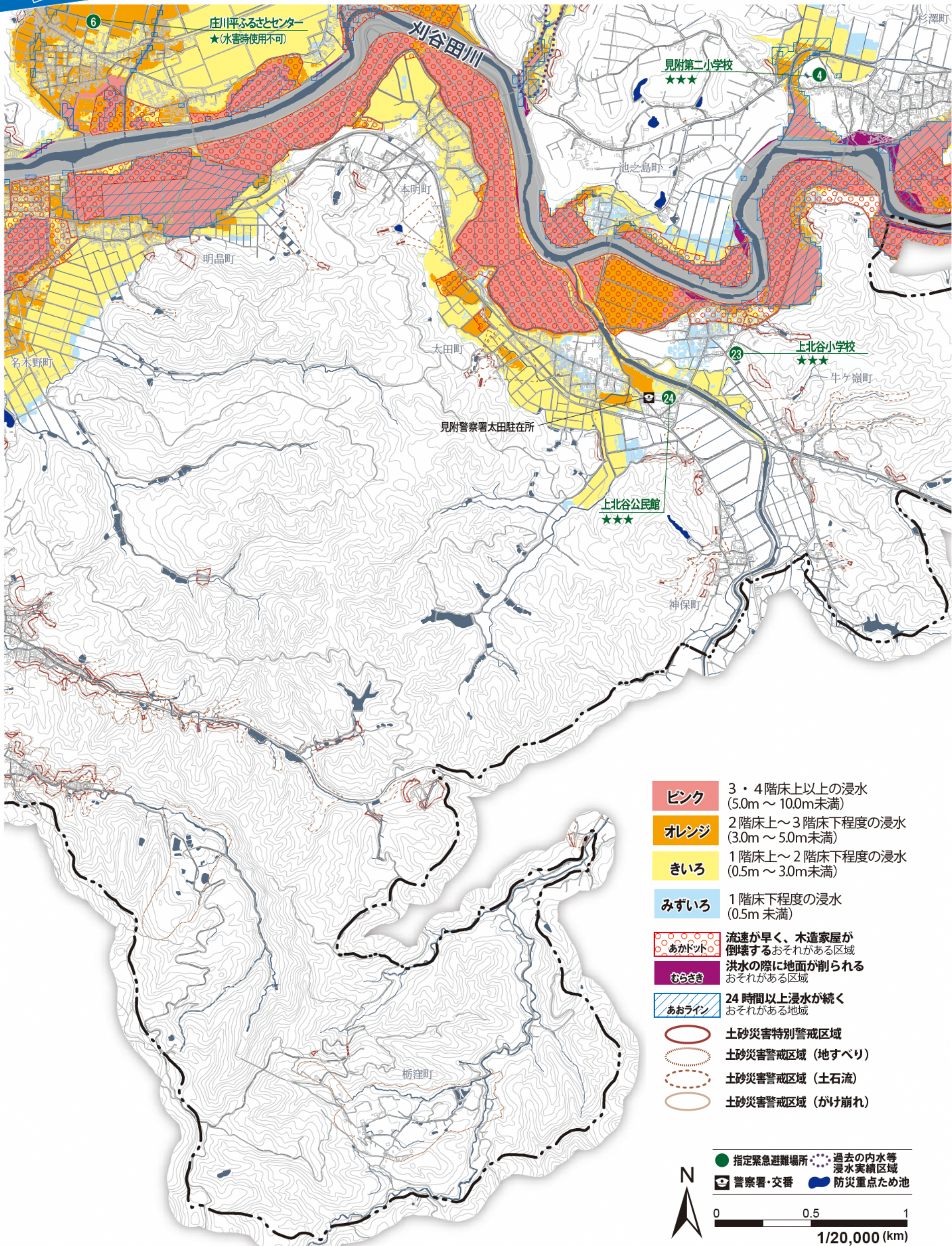
自宅にかかる色や模様囲いを見て、フローで確認!

命を守る 対応 あなたの家庭での行動指針



注意!! ご自身の判断で行動してください

北谷・上北谷地区



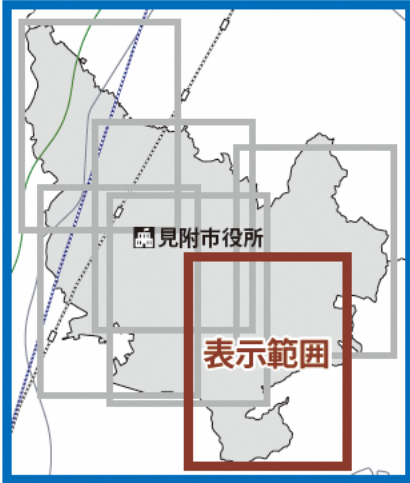
- ピンク** 3・4階床上以上の浸水 (5.0m ~ 10.0m未満)
- オレンジ** 2階床上 ~ 3階床下程度の浸水 (3.0m ~ 5.0m未満)
- きいろ** 1階床上 ~ 2階床下程度の浸水 (0.5m ~ 3.0m未満)
- みずいろ** 1階床下程度の浸水 (0.5m未満)
- あかドット** 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- むらさき** 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- あおライン** 24時間以上浸水が続くおそれがある地域
- 赤線** 土砂災害特別警戒区域
- 赤点線** 土砂災害警戒区域 (地すべり)
- 赤虚線** 土砂災害警戒区域 (土石流)
- 赤実線** 土砂災害警戒区域 (がけ崩れ)

● 指定緊急避難場所 ● 過去の内水等浸水実績区域
☑ 警察署・交番 ● 防災重点ため池

0 0.5 1
 1/20,000 (km)

このマップは刈谷田川に約1,000年に1回程度発生する確率の大雨を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。色がついていないところでも注意が必要です。

指定緊急避難場所一覧



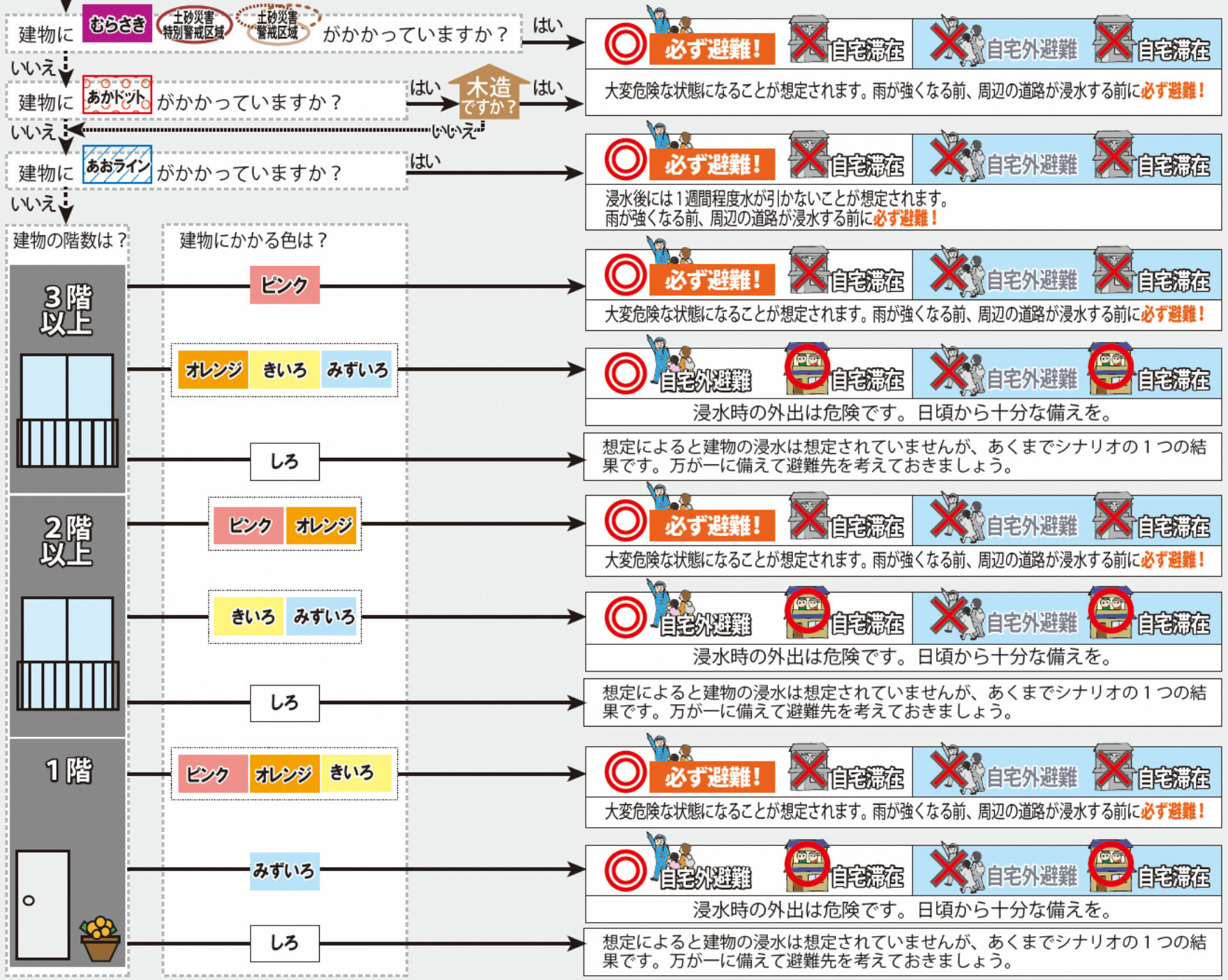
No. 指定緊急避難場所	Tel (0258)
4 見附第二小学校★★★	62-0314
6 庄川平ふるさとセンター★(水害時使用不可)	62-2267
23 上北谷小学校★★★	61-1150
24 上北谷公民館★★★	62-5129

市では洪水浸水想定区域図を踏まえて、指定緊急避難場所の安全レベルを設定(★付け)しています。詳しくは06ページを参照ください。

Point
裏表紙のマイ・タイムラインに
いつどこに避難するかをメモ!

自宅にかかる色や模様囲いを見て、フローで確認!

命を守る 対応 あなたの家庭での行動指針



注意!! ご自身の判断で行動してください

避難を助ける情報

避難情報等の種類と必要な行動

Point
 決断できるのはあなた自身！
 情報があっても、行動しなければ
 意味がありません

警戒レベルとは、行動を促す情報（避難情報等）とあなたがとるべき行動を関連付けるものです。

緊急度	警戒レベル	避難情報と必要な行動
	警戒レベル 1 気象庁が発表	早期注意情報（警報級の可能性※1） 災害への心構えを高めてください。 
	警戒レベル 2 気象庁が発表	洪水注意報、大雨注意報 避難に備え自らの避難行動を確認してください。 
	警戒レベル 3 高齢者等は避難 見附市が発表	避難準備・高齢者等避難開始 ① 通常の避難行動ができる方は、避難をするための準備を開始してください。 ② 災害時要援護者などの特に避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始してください。 ③ 災害時要援護者の避難を支援される方は、支援行動を開始してください。 
	警戒レベル3相当情報 洪水警報、大雨警報 等 国土交通省、気象庁、新潟県が発表	
	警戒レベル 4 全員避難 見附市が発表	避難勧告 通常の避難行動ができる方は、避難行動を開始してください。 
警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 等 国土交通省、気象庁、新潟県が発表		
		避難指示（緊急） ① 避難勧告などの発令後で、避難行動中のときは、直ちに避難行動を完了してください。 ② まだ避難していないときは、直ちに避難行動を開始してください。指定緊急避難場所へ避難する余裕がないときは、浸水後もとまれる高くて丈夫な建物に避難するなどの命を守る最低限の行動をとってください。 ■避難指示（緊急）は、状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令します。（必ず発令されるものではないことに留意してください。） 
警戒レベル 5 命を守る最善の行動 見附市が発表	災害発生情報 既に災害は発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとってください。 ■災害発生情報は、堤防が決壊しているなど、災害が発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令します。 	
警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 等 国土交通省、気象庁、新潟県が発表		

※1 警報級の可能性とは、警報級の現象が5日先までに予想されるときに、その可能性を「高」と「中」の2段階の確度を付して気象庁が発表するものです。

災害の前兆現象の発生等の状況によってこの限りではありません

河川の水位情報

観測所の水位を目安に

市が **避難情報** を発令します。

水位	大堰 観測所		本明 観測所	
	水位	避難情報	水位	避難情報
氾濫危険水位	20.00 m		26.87 m	
避難判断水位	19.01 m	避難勧告	26.06 m	避難勧告
氾濫注意水位	18.11 m	避難準備・ 高齢者等避難開始	24.39 m	避難準備・ 高齢者等避難開始
水防団待機水位 通常の水位	16.72 m		23.36 m	



雨量情報

観測所の雨量を目安に

市が **避難情報** を発令します。

避難情報	3時間雨量	
	見附 観測所	栃尾 観測所
避難勧告	100 mm	130 mm
避難準備・ 高齢者等避難開始	90 mm	100 mm

土砂災害の種類と前ぶれ

土砂災害警戒情報が発表されたり、市から避難勧告が出されたら、安全なところに避難しましょう。

新潟県 土砂災害警戒情報システム

URL <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/>
▶ 県内の土砂災害危険度など



Point

土砂災害が起こる前には、いつもと異なる状況が起きている場合があります。それら前ぶれは土砂災害の種類や場所・環境によっても違います。

土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることを「土石流」といいます。

こんな前ぶれに注意!



山鳴りがする

急に川の流れが濁り、流木が混ざっている



雨が降り続けているのに川の水位が下がる

がけ崩れ

地面にしみ込んだ水が斜面をゆるめ、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることを「がけ崩れ（急傾斜地崩壊）」といいます。

がけに割れ目が見える

がけから小石がぱらぱら落ちてくる

こんな前ぶれに注意!



がけから水が湧き出ている

地すべり

地下水などの影響により、地面が広い範囲にわたってゆっくりとすべり落ちることを「地すべり」といいます。

地面にひび割れができる

沢や井戸の水が濁る

こんな前ぶれに注意!



斜面から水が噴き出す

ほかにも・・・

こんな前ぶれに注意!

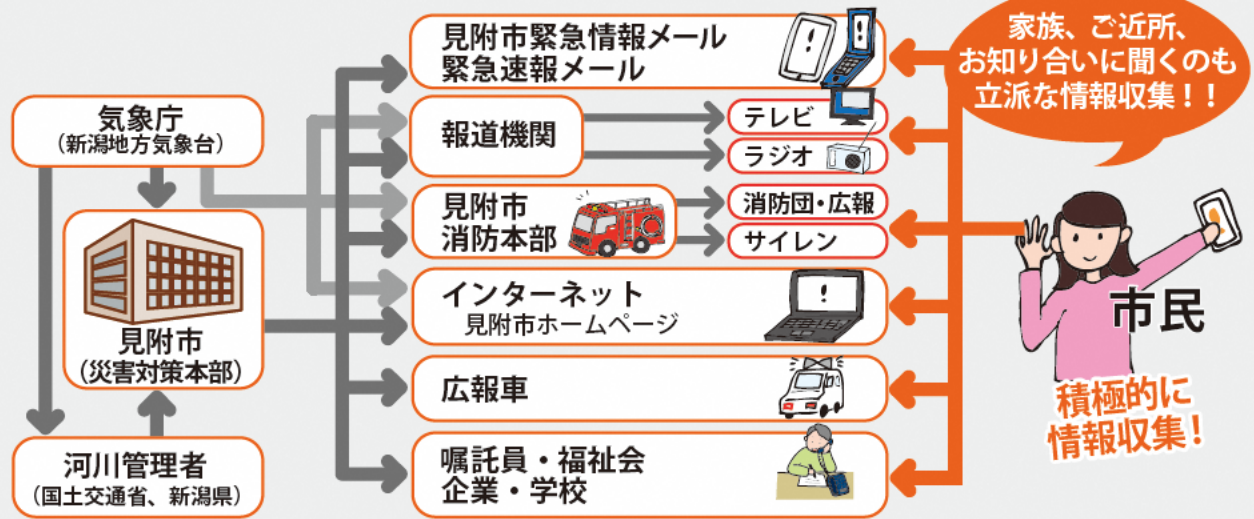
- 地鳴り、木の根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、肥やしのにおい）がする

- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる

情報の入手方法

避難に関する情報は、多くの手段で入手することができます。

“待っていれば誰かが伝えてくれる”と考えずに、自ら積極的に入手しましょう。



防災サイレンが聞こえたら出されている避難情報を確認してください!

見附市では防災サイレンにより避難情報をお知らせします。サイレンの吹鳴の長さにより避難レベルを表しています。



情報の受け取り方

豪雨による被害は、気象情報などを集め、適切な行動をとることで、最小限に抑えることができますので、正確な情報を入手し、適切な行動をとることができるよう心掛けましょう。

メールで受け取る

登録しておきましょう

登録制メール「見附市緊急情報メール」

見附市では、防災情報等を登録制メールで配信しています。

登録方法

メールアドレス **t-mitsuke@sg-m.jp** 事前登録必要

件名・本文は空のまま上記のメールアドレスにメールを送信してください。(右のQRコードからも登録サイトへアクセスすることができます)



テレビで調べる

データ放送に対応しているテレビでは、「d ボタン」を押すことで、気象情報や災害情報を確認することができます。

- ch NHK 総合 (新潟放送局)
- ch NCT ケーブルテレビ 2ch

ラジオで調べる

	FM	AM
FM 新潟	77.5 MHz	NHK 第一 837 kHz
FM ながおか	80.7 MHz	NHK 第二 1593 kHz
NHK FM	82.3 MHz	新潟放送 1062 kHz
FM-Port	79.0 MHz	

インターネットで調べる

見附市ホームページ

URL <http://www.city.mitsuke.niigata.jp/>
▶ 見附市に関する避難情報、緊急情報など



気象庁

URL <https://www.jma.go.jp/>
▶ 気象の注意報・警報のほか、洪水予報や土砂災害警戒情報、台風情報など



国土交通省 川の防災情報

URL <https://www.river.go.jp/>
▶ 川の水位や流域の雨量のほか、国土交通省が保有する防災情報。



新潟県 河川防災情報システム

URL <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/>
▶ 県内の川の水位や雨量、ダムの情報など



新潟県 土砂災害警戒情報システム

URL <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/>
▶ 県内の土砂災害危険度など



新潟県 道路情報システム

URL <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/douro/>
▶ 県内の交通規制情報など



災害時の連絡・問い合わせ先

災害時の連絡先

見附市役所	0258-62-1700	
	[FAX] 0258-63-1006	
見附警察署	0258-63-0110	
新潟県警察本部(ファックス110番)	[FAX] 0120-279-110	※聴覚障害のある方や、言葉が話せないなどの方専用
(メール110番)	[MAIL] http://niigata110.jp (メール通報用)	※聴覚障害のある方や、言葉が話せないなどの方専用
新潟県庁	025-285-5511 (代表)	
見附市消防本部	0258-62-0555	
	[FAX] 0258-62-7755	※聴覚障害のある方や、言葉が話せないなどの方専用
見附市立病院	0258-62-2800	
長岡地域振興局健康福祉環境部(長岡保健所)	0258-33-4930	
長岡地域振興局地域整備部維持管理課	0258-38-2621	県道に関すること
長岡地域振興局地域整備部治水課	0258-38-2628	県管理河川に関すること
国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所	0258-32-3020	信濃川に関すること
長岡国道事務所長岡維持出張所	0258-33-4690	国道に関すること
北陸ガス長岡供給センター	0258-39-9005	都市ガスに関すること
東北電力ネットワーク株式会社	0120-175-366	停電に関すること
NTT東日本	113 (電話の故障時)	

交通機関・道路状況・気象情報 問い合わせ先

JR 東日本	050-2016-1600	電車の運行状況に関すること
越後交通栃尾営業所	0258-52-3028	路線バスの運行状況に関すること
日本道路交通情報センター(新潟地方高速情報)	050-3369-6666 (携帯電話短縮ダイヤル「#8011」)	
天気予報	聞きたい地方の市外局番につづけて「177」	今日・明日・明後日の天気予報

災害用伝言ダイヤル 171

災害時には電話がつながりにくくなります。
「災害用伝言ダイヤル171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます。



災害用伝言板

NTT 及び携帯電話会社各社が提供する「災害用伝言板」は、災害時、インターネット接続が可能な場合に利用できます。

Web 171 (NTT)

URL <https://www.web171.jp>

NTT docomo

URL <http://dengon.docomo.ne.jp>

ソフトバンク / Y!mobile

URL <http://dengon.softbank.ne.jp>

au (KDDI)

URL <https://dengon.ezweb.ne.jp>

※災害用伝言板は、大きな災害が発生したときに提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT 及び携帯電話会社各社の説明を参照してください。

避難のための日頃の備え

Point

裏表紙のマイ・タイムラインにもやることをメモ!



1

非常持ち出し品を準備しておきましょう

日頃から

避難所の備蓄品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な方や乳幼児などへ優先的に配付されますので、自らが十分な準備をすると安心です。非常持ち出し袋には、両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみましょう。



Point

- ①あまり重いと避難行動に支障があるので、重すぎる場合は減らしましょう。
- ②水を注ぐだけで簡単にできる、比較的軽い乾燥食品などを用意しましょう。
- ③各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に分散して保管しましょう。

■非常持ち出し袋（リュックサックなど）に入れておくもの

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 非常食（カンパンなど）・飲料水 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備の電池も） | <input type="checkbox"/> 生活用品（ライター、ナイフ、缶切り、ティッシュペーパー、ビニール袋、布マスク※など） |
| <input type="checkbox"/> ろうそく（太くて安定のよいもの） | <input type="checkbox"/> 衣類（下着、上着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなど） |
| <input type="checkbox"/> 救急薬品（ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、かぜ薬、鎮痛剤、目薬、とげ抜きなど） | |
- ※布マスクは感染防止にも役立ちます

■家族構成によって必要なもの

- 粉ミルク 紙おむつ 生理用品 常備薬（持病のある方は忘れずに）
- 高齢者や障がい者のための準備品（介護用品など）

■避難時の必需品

- 雨具（カッパ） 手袋 ヘルメット（防災ずきん） 見附市豪雨災害対応ガイドブック（この冊子）
- 貴重品（預金通帳、健康保険証、免許証、住所録のコピーなど） 現金（紙幣だけでなく、公衆電話用の10円硬貨も）

■あると便利なもの

- 毛布・寝袋 カセットコンロ（ガス） 使い捨てカイロ 割りばし 床に敷くシート

2

避難先・避難ルートを確認し、裏表紙のマイ・タイムラインに家族の行動を記入しておきましょう

日頃から

浸水に対して安全な避難先と避難ルートを、普段から家族や地域で確認しておきましょう。避難先は必ずしも市の避難場所である必要はありません。親戚宅・知人宅・職場なども避難先の選択肢になります。

また、夜間や降雨時の避難を想定し、目標物やルート上の危険箇所を調べておきましょう。



ほかにも…

早い段階で備えておきましょう



台風への対策

- 飛ばされそうなものの片づけ
- 窓の施錠の確認
- 携帯電話の充電

3

余裕をもって早めに避難しましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難情報が届くのを待たずに自主的に避難を開始してください。



自家用車での避難は、緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞を引き起こしますのでやめましょう。どうしても自家用車での避難をした場合は、さらに早めの避難開始が重要です。



6 市の避難場所での注意

水害時に開設される市の避難場所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することとなります。大声を出したり騒いだり他人が不快に感じるような言動は控えましょう。互いの気遣いが大切です。



なお、ペットの苦手な人やアレルギーをお持ちの人なども滞在します。また、糞尿などの衛生面での問題も考えられますので、ペットを避難させる際には、不特定多数の人々が長期滞在する場所は避けるように心がけましょう。

7 地域で協力を

避難する場合には、周囲の人達に声をかけあいましょう。

高齢者や身体の不自由な方など、避難に時間を要する方については、避難準備情報などを参考にして早めに避難させるようにしましょう。

普段から地域で情報を交換し、いざというときには協力し合い、災害による犠牲を防ぎましょう。



5 避難のときの注意点

浸水の中を避難するのは大変危険です。周囲に危険を感じたときは、高くて丈夫な建物に駆け込みましょう。

Point

- ①洪水による浸水は、濁水となり足下の様子が確認できず、非常に危険です。
- ②夜間は、暗い中で目の前の浸水の流れの速さを把握することができず、非常に危険です。
- ③その場の状況に応じて、自宅滞りも含めた避難先や避難経路など、少しでも安全な避難を心がけましょう。

避難のときに
危険な箇所

浸水の中を避難するのは危険です



高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。

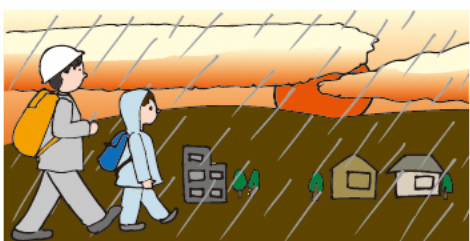


浸水した道路は、用水路や側溝、マンホールなどが見えなくなり、落ちることがあります。



増水した水路や川に近づいたり、横切るとはやめましょう。

台風の接近や、大雨が降り続く予報の場合は、暗くなる前に早めに避難しましょう。



4 ご近所に声をかけ一緒に避難しましょう

単独での避難は、思わぬ事態にあつたときに危険です。

避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。



自宅滞在のための備え

Point

裏表紙のマイ・タイムラインにもやることをメモ!



1

備蓄品を準備しておきましょう

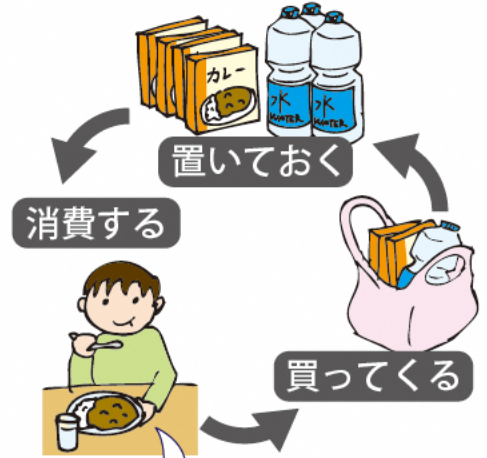
日頃から

ライフラインの停止は長期に及ぶ可能性もあります。ライフラインが復旧するまでの数日間のために、飲料水や食料などの備蓄があると安心です。

- 日頃の買い置き ▶ 保存性のよい食料や水を買置きし、消費したら買い足す(ローリングストック方式)
- 7日分以上の食料 ▶ 水を加えて食べられる米(アルファ化米)、缶詰、乾パン、インスタント・レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
- 飲料水 ▶ 大人1人当たり1日3リットル
- トイレ用品 ▶ 簡易トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋、トイレットペーパー
- 燃料 ▶ カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料

ローリングストック方式

少し多めに食料を買っておき、使った分を補充する備蓄方法です。



いつも食べてるものだから、もしものときに元気が出るね!

2

家屋や家財の被害を軽減しましょう

できる限り家財を高いところへ上げましょう。

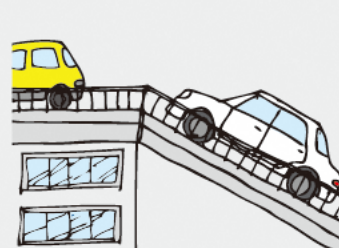
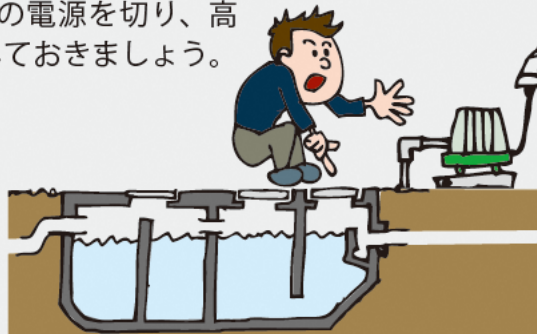


屋外の作業は大雨が降る前に

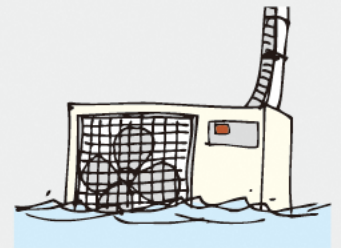


物干しざおや物干し台は寝かせ、風で飛ばされそうな植木鉢やゴミ箱などは、室内に入れておきましょう。窓や屋根の補強などは、早めに終わらせておきましょう。

浄化槽に土砂や泥が浸入しないように、浄化槽のフタがしっかりと閉まっているか確認しましょう。また、ブローア(浄化槽ポンプ)の電源を切り、高い場所に移動しておきましょう。



自家用車を早めに安全な場所へ移動しておきましょう。



エアコンの室外機や配線類から漏電の危険性があります。ブレーカーを落としておきましょう。

4 身の安全を確保しましょう

水圧でドアが開かなくなり危険です。地下室や低い場所での滞在は避けましょう。



3 周囲が浸水してからは自宅外避難しない

洪水時において、浸水後、安全に自宅滞在が可能か否かは、「逃げどきマップ」(11-22ページ)でご確認ください。



簡易水防工法で浸水を防ぎましょう。

簡易水防工法は、家庭にあるものを使って家屋への浸水や流入を防ぐ方法で、水深が浅い段階では有効です。玄関などの出入口のみならず、床下への浸水の防止も重要です。

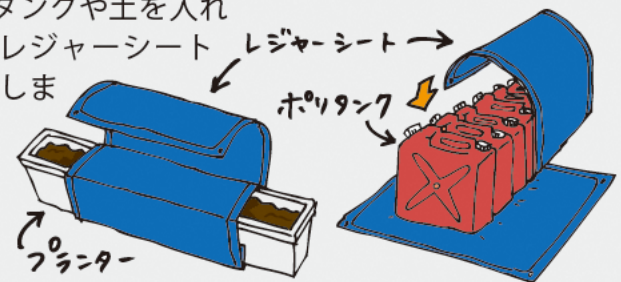
出入口に板などを設置し、浸水を防ぎます。

止水板



40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。

水を入れたポリタンクや土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。



思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう。

建物の周辺が浸水すると、下水が逆流して、排水口などから水が噴き上がることがあります。水を入れたビニール袋などを置いて、逆流を抑えましょう。

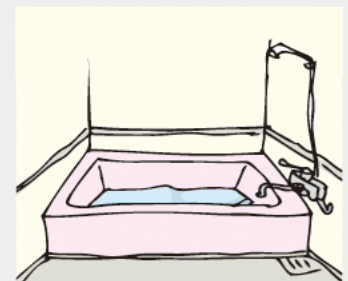


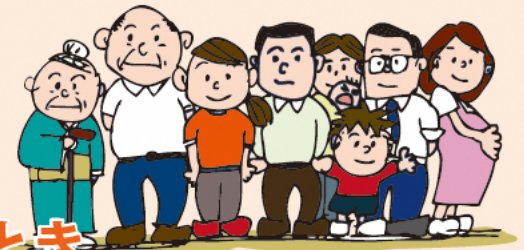
下水が逆流すると、トイレから水が噴き上がることがあります。水を入れたビニール袋などで重しをしましょう。



床下が浸水すると、床下収納のふたが開いて水が入ってくる場合があります。重しをして浸水を防ぎましょう。

風呂の浴槽の水は流さずに溜めておきましょう。下水の逆流を防ぐことができ、生活用水としても利用することができます。





Point

いざというとき
頼りになるのは地域のちからです

自分の命は、自分で守る

災害による犠牲者を無くすためには、市民一人ひとりが、「いざというとき、最終的に自分の身を守るのは自分自身である」という原点に立ち返ることが重要です。「自分は大丈夫」と思いこんだり、誰かに頼りきりになり、主体的に災害に備える姿勢を失ってはいけません。

家族の命は、家族で守る

自分の命を守ることができれば、家族を助けることができます。また、家族間でいざというときの対応を確認し、普段から備えていることが、家族の命を守るにつながります。

自分たちのまちは、自分たちで守る

自分の命、家族の命を主体的に守ることを地域住民同士が共有できれば、たとえ個人での対応が困難な場合であっても、それを可能にする大きな力が生まれます。

みんなで決めて、みんなで逃げる

災害時、避難が必要なことを分かっているにもかかわらず、なかなか一人では決断できないものです。みんなで判断することで、避難の決断がしやすくなります。

日頃から

避難ルール（避難先や避難のきっかけ）を地区のみんなで決めておく。

大雨が降り出し

避難のきっかけに気付いたら、みんなに伝える。

みんなで逃げよう！

声を掛け合ってみんなで避難する。



警戒開始の雨量基準

連続雨量 100mm に達した場合
または

時間雨量 20mm に達した場合

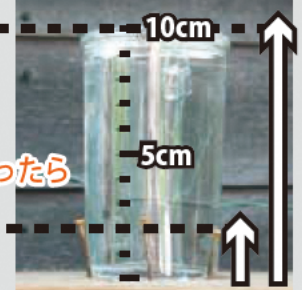
これは、一般的に土砂災害の危険性が高まると言われている雨量です。日頃から雨量計測を行い、雨の降り方と周辺の様子に注意しましょう。

Point

この雨量になったら土砂災害に警戒！

雨が降り始めてから 10cm 以上水がたまったら
連続雨量 100mm 以上の雨

1 時間で 2cm 以上水がたまったら
時間雨量 20mm 以上の雨



カップ酒の瓶等を利用した雨量計測の方法

防災ファミリーサポート制度

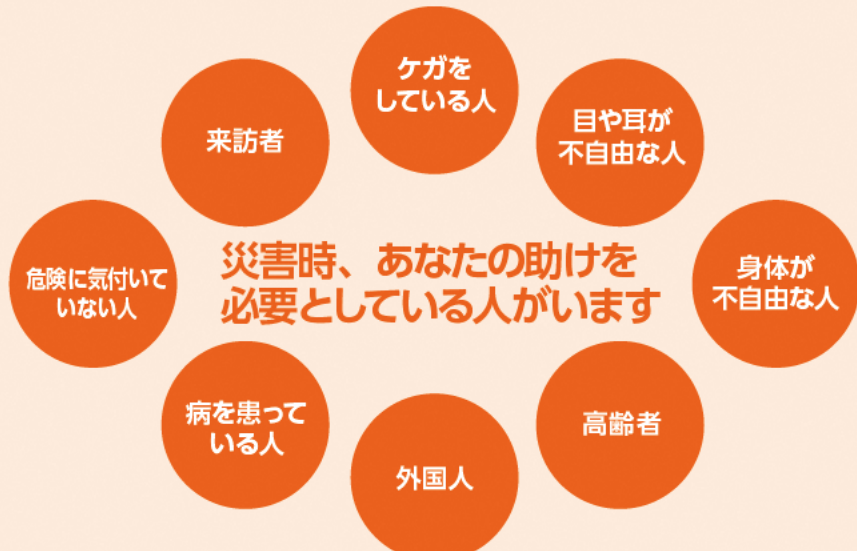
多くの人々は、災害対応の責任の多くが行政にあると考え、また期待もしています。

しかし、実際の災害は多くの場合、行政にとっても想定外の外力で発生しています。想定外の力でわたしたちを襲う自然災害に対して、わたしたちの暮らしの全てを守りきることは不可能です。

市民の皆さまには、行政の対応だけでは守りきれない事態にお

いて、自分の身は自分で守る「自助」以外にないことを、あらためてご理解いただきたいのです。

加えて、自らの対応が充分に行えない避難行動要支援者には、**地域コミュニティ(=共助)**をもって対応していただくことも重要です。見附市では、防災ファミリーサポート制度により、避難行動要支援者が早期に安全な場所へ避難するため、「自助」および地域の「共助」を基本とした避難支援体制づくりを行っています。いざというとき、頼りになるのは地域のちからです。災害時、地域の共助による避難行動要支援者の安否確認や避難誘導・支援等にご協力をお願いします。



2017年6月11日
全市総合防災訓練

避難インフルエンサー

※インフルエンサーとは周囲に情報を拡散して他の人に影響を及ぼす人のこと。
避難インフルエンサーは自身が避難するときに他の人に声をかけて避難を促す人です。

災害時、危険がすぐ近くまで迫っていても「自分は大丈夫」と思い込んでしまう「正常性バイアス」によって逃げ遅れ、命を落としてしまう人がいます。一方で、家族や近所の人など信頼している人から避難を呼びかけられたことで、避難を決断することができたという事例が多くあります。この「信頼する人からの声かけが避難行動につながる」という知見を活かして、災害時に避難を呼びかける「避難インフルエンサー(※)」の取り組みを進めています。



ため池ハザードマップ

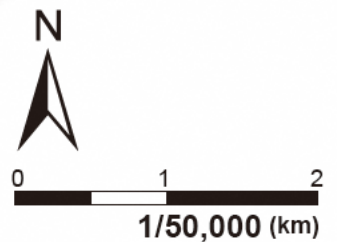
ため池ハザードマップは、大規模な地震の発生によりため池が決壊したときの被害状況を、シミュレーションや簡易解析を用いて想定したものです。

索引図

新潟・見附地区 34ページ

見附・上北谷地区 35ページ

北谷・上北谷地区 36ページ



ため池決壊時の避難方法などは、各地区ごとに決まりがあります。詳しくは、各地区のため池ハザードマップをご確認ください。見附市ホームページで公表していないため池ハザードマップは、各地区の農家組合長までお問合せください。



ため池ハザードマップ

こんなときは要注意！

震度5以上の地震が発生したとき

ため池の水位が上がり、あふれそうなとき

ため池の堤防がいつもと違うとき
(陥没、ひび割れ、水が浸み出るなど)

見附市ホームページ

URL <http://www.city.mitsuke.niigata.jp/>

ホーム▶市役所の組織・業務内容▶農林創生課▶農林整備係



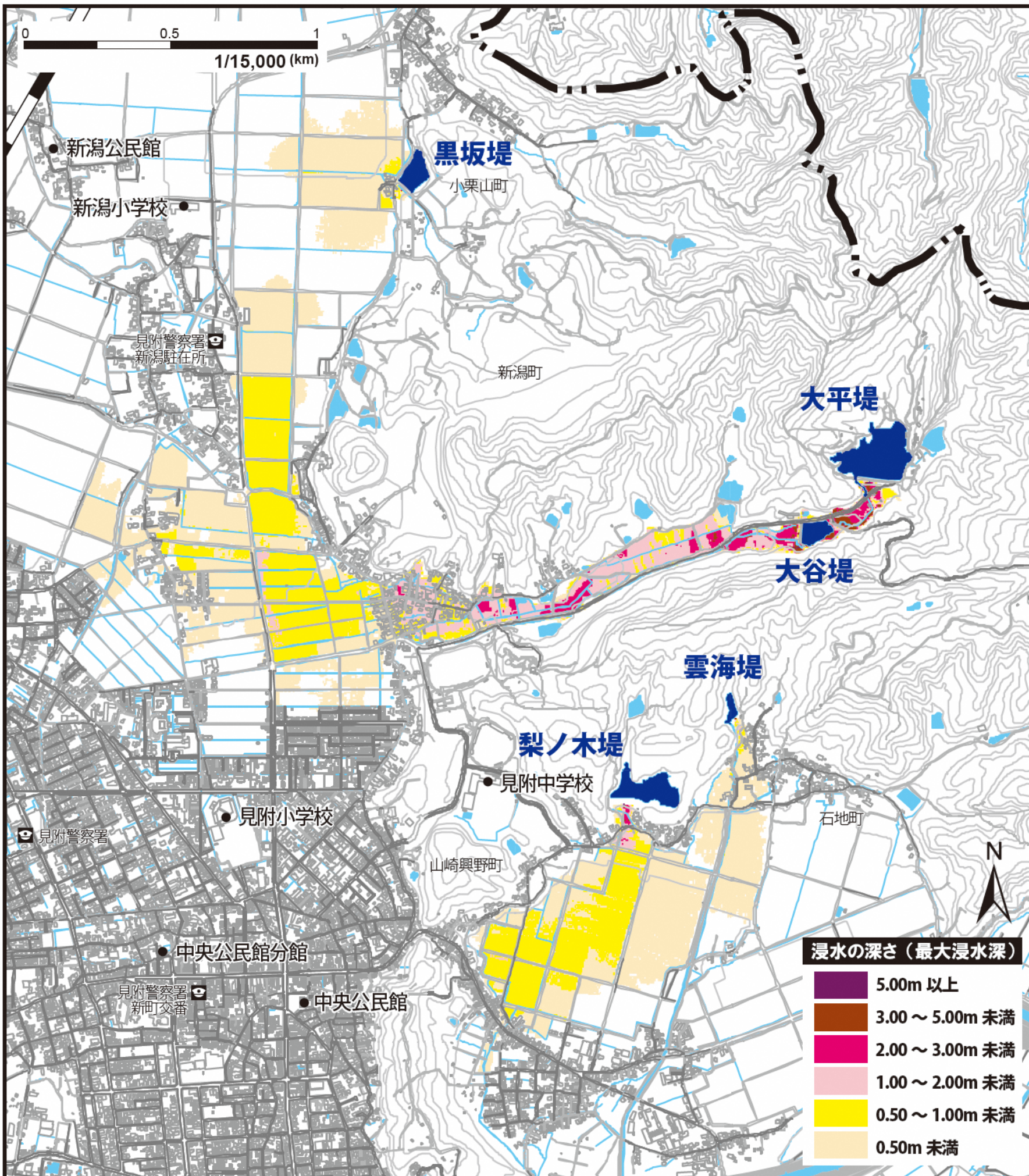


このマップは、現時点で公表されている各地区のため池ハザードマップを基に、浸水の深さを重ね合わせて最大の深さを示したものです。
 しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。周囲の状況により、ご自身の判断で行動してください。

防災重点ため池
 決壊した場合に人的被害が出るおそれがあるため池

【掲載ため池】
 黒坂堤、大谷堤、大平堤、梨ノ木堤、雲海堤

新潟・見附地区





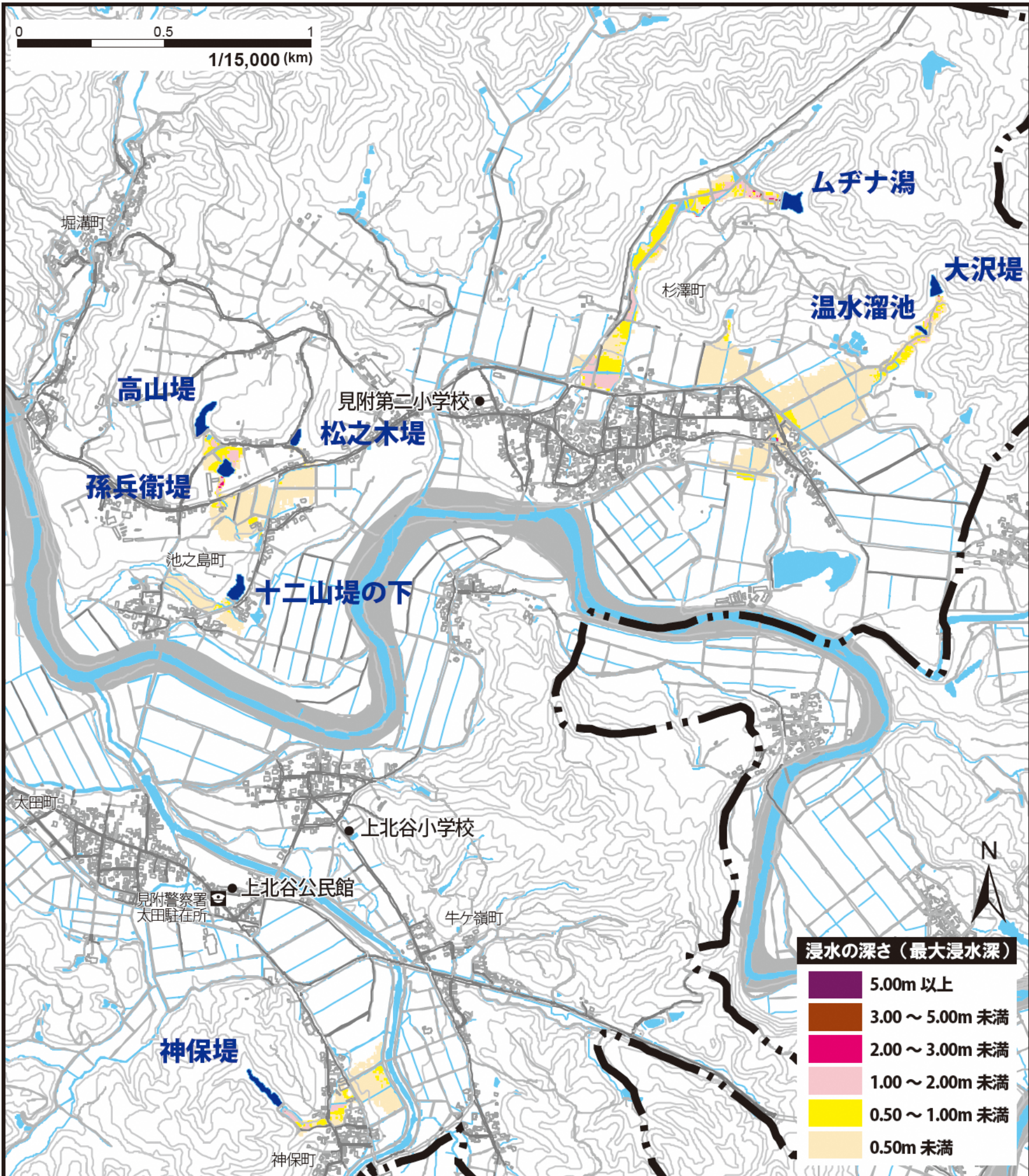
このマップは、現時点で公表されている各地区のため池ハザードマップを基に、浸水の深さを重ね合わせて最大の深さを示したものです。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。周囲の状況により、ご自身の判断で行動してください。

防災重点ため池
決壊した場合に人的被害が出るおそれがあるため池

見附・上北谷地区

【掲載ため池】

孫兵衛堤、松之木堤、神保堤、ムチナ瀧、大沢堤、温水溜池、高山堤、十二山堤の下



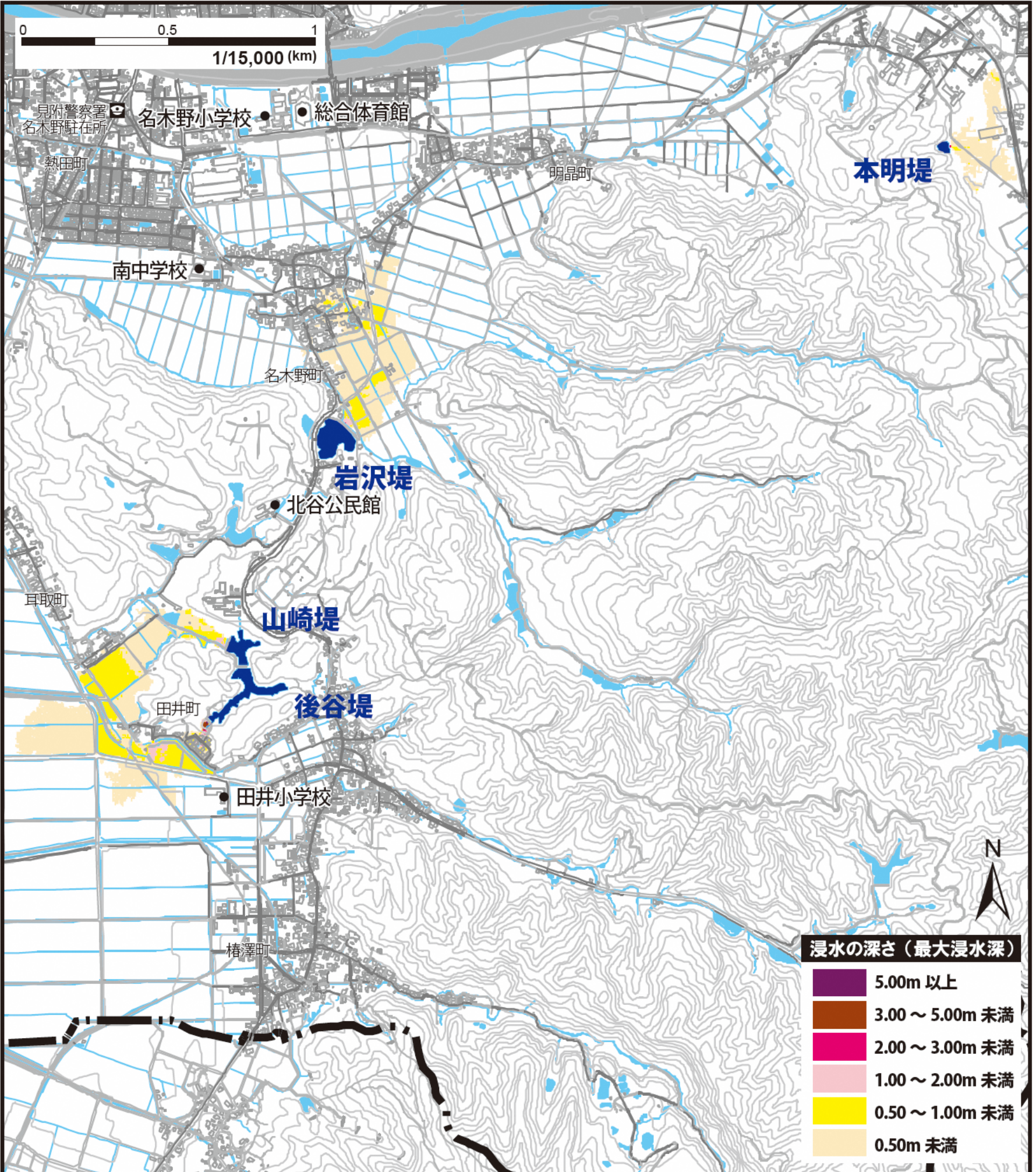


このマップは、現時点で公表されている各地区のため池ハザードマップを基に、浸水の深さを重ね合わせて最大の深さを示したものです。
 しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。周囲の状況により、ご自身の判断で行動してください。

防災重点ため池
 決壊した場合に人的被害が出るおそれがあるため池

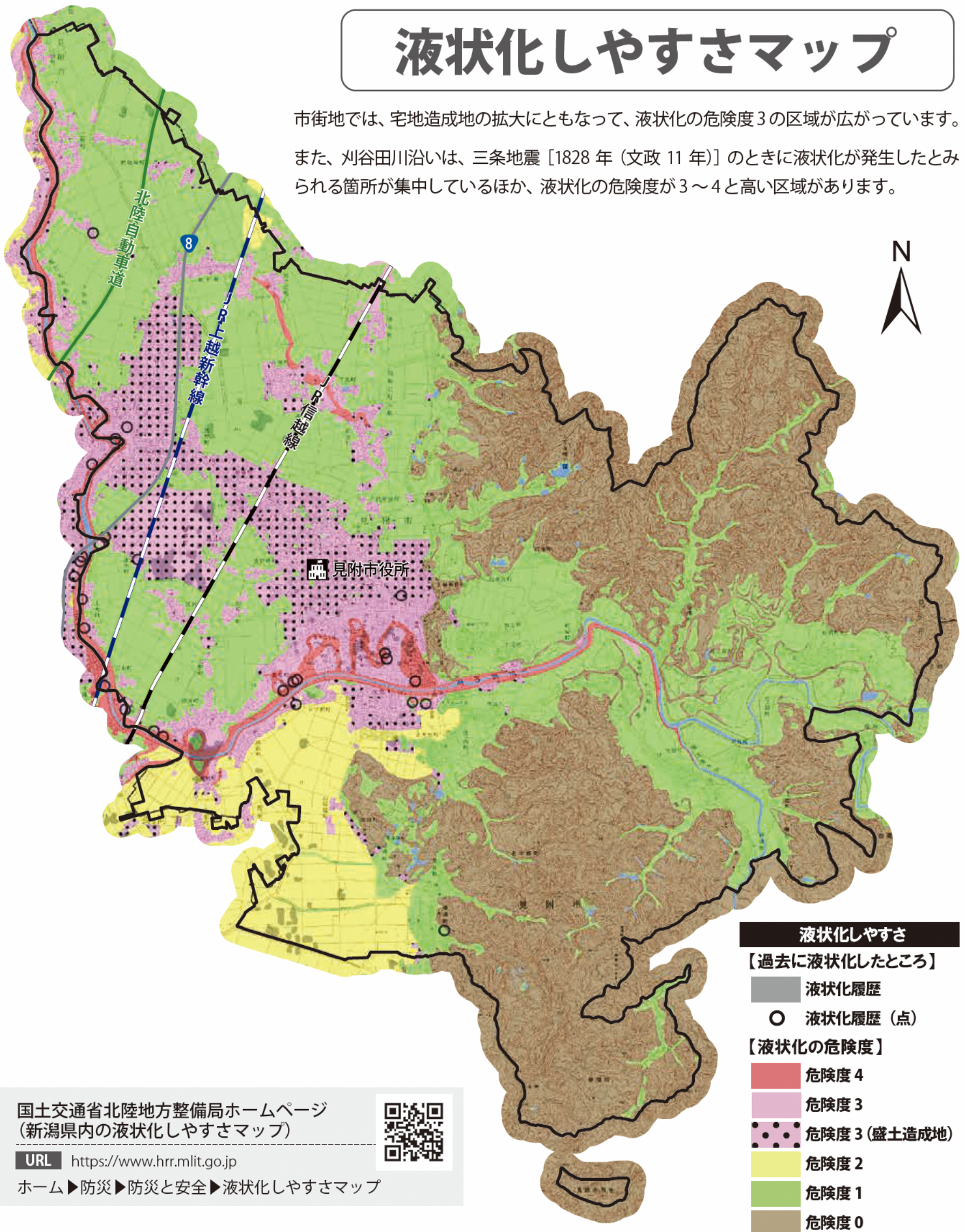
北谷・上北谷地区

【掲載ため池】
 岩沢堤、山崎堤、後谷堤、本明堤



液状化しやすさマップ

市街地では、宅地造成地の拡大にともなって、液状化の危険度3の区域が広がっています。
また、刈谷田川沿いは、三条地震[1828年(文政11年)]のときに液状化が発生したとみられる箇所が集中しているほか、液状化の危険度が3~4と高い区域があります。



国土交通省北陸地方整備局ホームページ
(新潟県内の液状化しやすさマップ)

URL <https://www.hrr.mlit.go.jp>

ホーム▶防災▶防災と安全▶液状化しやすさマップ



〈このマップについて〉

- ・このマップは、地盤の液状化という点のみ注目し、「液状化しやすさの傾向」を示したものです。地震被害想定マップではありません。
- ・液状化しやすいとされる地形条件に着目し、周辺にある既存の地盤(ボーリング)データを参照しており、多くの推定を含んでいます。
- ・液状化対策が実施された建物など、地盤が液状化しても被害が現れない場合があります。液状化対策の有無の一つ一つを区別することはできません。このマップは、あくまでも地盤の性質として、液状化しやすい傾向があるかどうかを示したものです。

■このページ及びマップは、新潟県内液状化しやすさマップ[国土交通省北陸地方整備局/公益社団法人地盤工学会北陸支部]より、抜粋して掲載しました。

液状化とは？

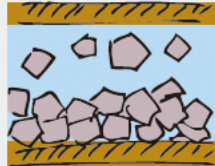
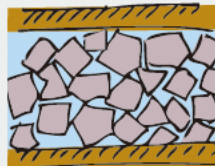
液状化とは、地下水を多く含んだ砂の層が液体のように流動化する現象で、水圧の上がった地下水が砂といっしょに噴き上がる現象を噴砂（現象）といいます。

液状化現象が
起こる前



液状化現象が起こる

液状化現象による被害



揺れによって地下水圧が大きくなり、くっつき合っていた砂粒がバラバラになる。砂粒は水の動きに合わせて動いたり流れたりして、液状化してしまう。



水の動きで、土の層が波打ったり穴が開いたり裂けてしまう。このため、地割れ、地面の波打ち、噴砂、陥没などの被害が発生する。

液状化しやすいところってどんなところ？

- 砂地盤（少なくとも地下2～3mの浅い位置に砂層がある）
- 砂がふんわりとたまっていて締めかたまっていない
- 緩い砂の層が地下水に満たされている

液状化したら、どうなる？

地震の振動によって地盤が液状化すると、建物などが傾く、地中のガス管や水道管が壊れる、砂まじりの水が地表に噴出する、などの被害が生じます。



公園のクラックと噴砂丘
[新潟県中越地震（平成16年）]



液状化による噴砂
[新潟県中越地震（平成16年）]

1 避難先 自宅からの避難先を逃げどきマップ（11-22ページ）で確認してメモしておきましょう。

原則：

早めの避難先

- 最寄りの浸水が想定されていない指定緊急避難場所
- 親戚宅・知人宅・職場など市内に限らず、より安全な場所

逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守れる場所へ

- 高い建物や高い場所
- 自宅の高いところ・斜面から離れた場所
- 市の避難場所に限らず、駆け込めるところ

2 避難の前の備えやいつ避難を開始するかをメモしましょう。

おおよその時間の目安	発信される情報や状況など	主な備え [メモ欄]	備えの例
3日前	台風発生 台風予報		<ul style="list-style-type: none"> ●テレビ、インターネットなどで今後の台風を調べ始める ●家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認
2日前	大雨注意報 洪水注意報 台風の今後の見通し		
1日前	大雨警報 洪水警報		<ul style="list-style-type: none"> ●避難するときにもっていくものを準備 ●携帯電話を充電 ●住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ●ハザードマップで避難場所や避難の方法を確認 ●川の水位を調べ始める
半日前	<p>緊急度</p> <p>氾濫注意水位到達 レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 高齢者等は避難</p> <p>避難判断水位到達 レベル4 避難勧告 全員避難</p> <p>氾濫危険水位到達 レベル4 避難指示（緊急） 全員避難完了</p> <p>高 川の水が氾濫 レベル5 災害発生情報 命を守る最善の行動</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●携帯メールなどで避難情報を受信 ●避難しやすい服装に着替える ●避難勧告や避難指示（緊急）を受信 ●安全なところへ移動を始める

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。